

第4部 資料編

1. 策定経過

令和元（2019）年

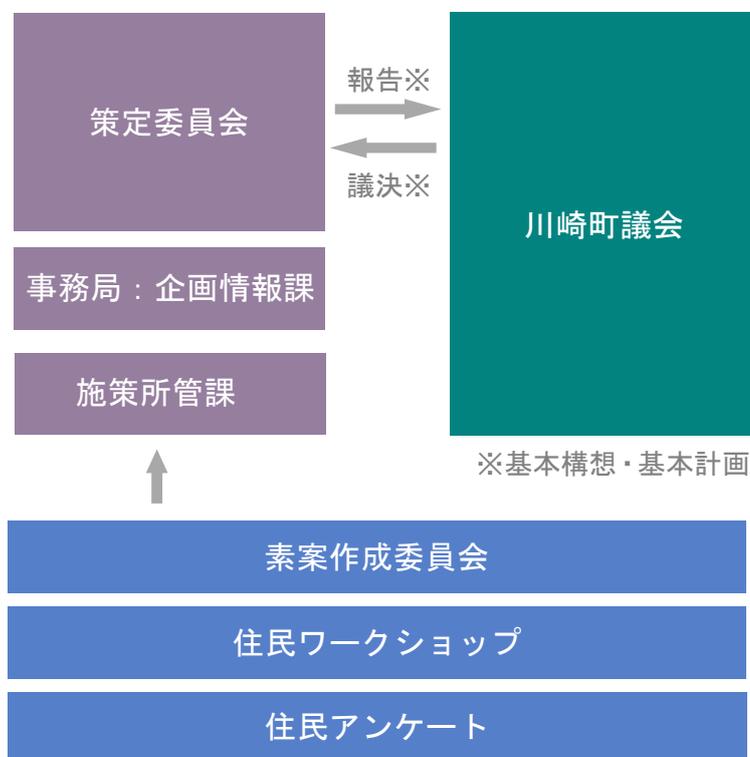


2. 策定体制

「第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略素案作成委員会」「住民アンケート」「住民ワークショップ」等からの意見をもとに、第6次川崎町総合計画の事務局案の作成を進めました。また事務局は庁内調整を行い、素案をまとめ、それを「第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略策定委員会」で審議しました。

総合計画の基本構想と基本計画は川崎町議会基本条例に基づき議会の議決事項となっています。そのため、川崎町議会は第6次川崎町総合計画を審議のうえ、議決を行いました。

■体制図■



3. 川崎町議会基本条例 (関係箇所抜粋)

第13条 議会は、町長が提案する重要な政策を審議するにあたり、その論点を明らかにし、その政策水準を高めるため、町長に対し、次に掲げる事項について明らかにするよう求めるものとする。

- (1) 政策の発生源
- (2) 提案に至るまでの経緯
- (3) 他の自治体の類似する政策との比較検討
- (4) 総合計画との整合性
- (5) 関係ある法令及び条例等
- (6) 財源措置
- (7) 将来にわたるコスト計算
(予算・決算における政策説明資料の作成)

第14条 議会は、予算案及び決算を審議に付すに当たっては、前条の規定に準じて、分かりやすい施策別又は事業別の説明資料を町長に求めるものとする。

(地方自治法第96条第2項の議決事項)

第15条 地方自治法(昭和22年法律第67号。以下「法」という。)第96条第2項に基づく議会の議決事項を次のとおり定める。

- (1) 総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想及び総合計画
- (2) 前号に掲げるもののほか、町行政の各分野における政策及び施策の基本的な方向を定める計画、指針、その他これらに類するものに関すること(行政内部の管理に係る計画、特定の地域を対象とする計画及び計画期間が3年未満の計画を除く。)で、次に掲げるものとする。
 - ア 都市計画、上下水道等に関する計画
 - イ 社会福祉、医療に関する計画
 - ウ 農林水産業、観光、商工業、その他の産業の振興に関する計画
 - エ 町民生活の安全、交通、環境に関する計画
 - オ 教育に関する計画
 - カ 次世代育成、男女共同参画に関する計画
 - キ 国民保護に関する計画
- (3) 定住自立圏構想推進要綱(平成20年12月26日総行応第39号総務事務次官通知)の規定による定住自立圏形成協定の締結若しくは変更又は廃止を求める旨の通告

(平成23年12月9日・平成25年2月14日・平成28年9月23日・一部改正)

4. 第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略策定委員会名簿

任 期 令和元（2019）年8月1日 ～ 令和2（2020）年3月31日

■委員

	区 分	氏 名	摘 要
1	学識経験者	城 戸 宏 史	北九州市立大学大学院
2	行 政	宮 田 等	副町長
3	行 政	小 峠 英 人	教育長
4	議 会	樋 口 秀 隆	町議会議員
5	議 会	松 岡 久 代	町議会議員
6	行政区	寿 浦 一 成	行政区長会
7	観光の関係者	竜 円 勝 幸	川崎町観光協会事務局長
8	商工の関係者	濱 口 喜 則	豊前川崎商工会議所所長
9	商工の関係者	中 村 孝 司	豊前川崎商工会議所青年部
10	金融の関係者	井 上 靖 彦	福岡銀行川崎支店支店長
11	金融の関係者	平 松 晃	西日本シティ銀行川崎支店支店長
12	子育ての関係者	中 島 勝 美	人権擁護委員
13	農業の関係者	井手上 昌 志	JA 田川川崎支所次長
14	農業の関係者	杉 本 利 雄	(有)ラピュタファーム代表取締役
15	農業の関係者	西 山 一 郎	農業後継者クラブ会長

区 分	氏 名	摘 要
オブザーバー	野 口 綾 子	福岡県市町村支援課

■事務局

所 属	氏 名	摘 要
総務課長	中 村 和 貴	
財政課長	手 嶋 康 文	
企画情報課長	奥 修 一	
企画調整係長	福 島 昌 美	
企画情報課	國 澤 賢 司	
企画情報課	丸 田 隆 矢	
企画情報課	谷 豊	
企画情報課	松 尾 郁 代	
企画情報課	田 邊 律 子	

5. 第6次川崎町総合計画および第2次川崎町総合戦略素案作成委員会名簿

任 期 令和元（2019）年8月1日 ～ 令和2（2020）年3月31日

■委員

	所 属	役 職	氏 名
1	総務課人事係	係 長	荒 卷 英 司
2	財政課財政係	主 事	小 峠 清 英
3	防災管財課管財契約係	主任主事	小 見 嘉 幸
4	福祉課福祉係	主 事	中 島 直 子
5	商工観光課商工観光係	主任主事	伏 見 慎 規
6	教務課教務係	主 事	田 中 亮 平
7	社会教育課社会体育係	主 事	猪 原 翔 太
8	健康づくり課健康促進係	主 事	國 廣 妙 子
9	健康づくり課子育て支援係	主 事	大 野 智 章
10	高齢者福祉課高齢者福祉係	係 長	沖 弥 生
11	住民課環境保全係	主 事	崎 山 亮
12	田川広域水道企業団川崎町水道事務所	主 事	中 野 亮 介

■事務局

所 属	氏 名	摘 要
企画情報課長	奥 修 一	
企画情報課企画調整係長	福 島 昌 美	
企画情報課	國 澤 賢 司	
企画情報課	丸 田 隆 矢	
企画情報課	松 尾 郁 代	
企画情報課	谷 豊	
企画情報課	田 邊 律 子	



6. 住民アンケート

(1) 調査概要

①. 調査目的

令和2(2020)年度から始まる『第6次川崎町総合計画』および『第2次川崎町総合戦略』を策定するため、町民に町政に対する考え方や意見を聞き、今後のまちづくりの方向性や諸課題への対応を検討する上での基礎資料とする。

②. 調査対象および調査方法等

調査対象	20歳以上の町内居住者を対象とし、無作為に抽出
調査数	2,800人(1回目:1,800通、2回目:1,000通)
調査方法	郵送により配布、郵送回収
調査時期	1回目:令和元(2019)年8月9日(金)～8月27日(火):19日間 2回目:令和元(2019)年10月1日(火)～10月16日(水):16日間

③. 回収状況

有効配布数	2,800通
有効回収数	458通
有効回収率	16.4%

④. 留意事項

表・グラフ中の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しており、そのため、各選択肢の構成比の合計が100%にならない場合がある。

2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。

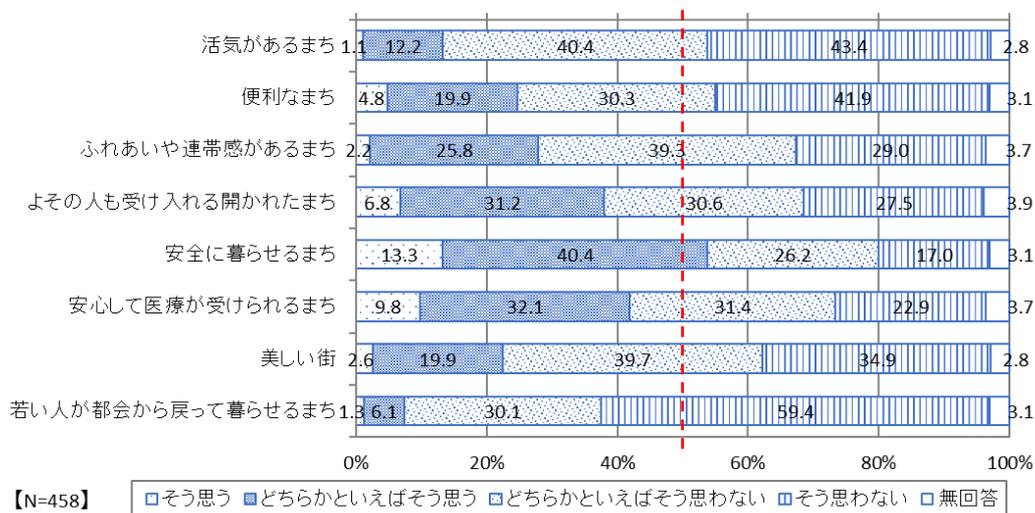
図表中の「N」あるいは「n」は、比率算出上の基数(標本数)を表す記号である。

「N」は全標本数ベース、「n」は該当数ベースを示している。

クロス集計における各設問の表の回答割合に関して、表中の **太字** は1番多い項目、**太字** は2番目に多い項目、**太字** は3番目に多い項目を示している。

(2) 結果のまとめ

- 町のイメージに関する 8つの設問「活気があるまち」「便利なまち」「ふれあいや連帯感があるまち」「よその人も受け入れる開かれたまち」「安全に暮らせるまち」「安心して医療が受けられるまち」「美しいまち」「若い人が都会から戻って暮らせるまち」について、好意的な評価が半数を超えたのは、「安全に暮らせるまち」のみである。また、前回調査と比較すると、8設問中7設問で好意的な評価が減少し、一方で「よその人を受け入れる開かれたまち」のみ、好意的な評価が増加している。

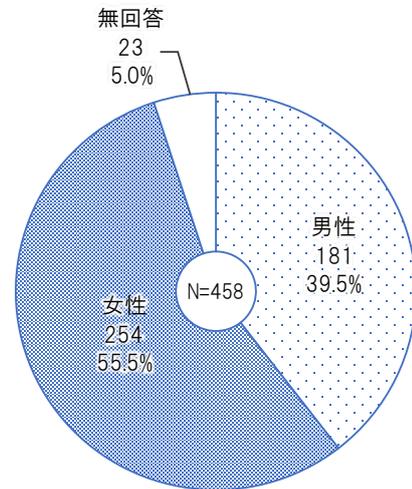


- 町への意向に関する 2つの設問「住みたい」「愛着を持っている」について、「住みたい」「愛着を持っている」は好意的な評価が 6割から 7割となっている。また、前回調査と比較すると、「住みたい」は好意的な評価が減少し、「愛着を持っている」は横ばいとなっている。
- 町の魅力として発信していくべきものは、「パン博などのイベント」「農産物などの食べ物」「ラピュタファームなどの施設や場所」の順に上位を占めている。
- 暮らしの中の満足度・重要度について、重要度が高く満足度が低い項目として、「学校教育」「環境衛生」「交通」「地域公共交通」などが挙げられる。
- 今後 5年間で力を入れてほしい取り組みについては、「高齢者や障がい者福祉の推進」「働く場所の確保」「過疎が進む町の活性化」「子どもの教育の充実」「コミュニティバスなど公共交通の充実」の順に多くなっている。
- 第 5次川崎町総合計画の認知度について「知っている」が 1割以下となっており、また、アンケートの回収率が 16.4%と、近隣市町村と比較しても低い傾向にあるため、住民の町政への関心度を上げていくことが求められる。

(3) 集計結果

あなたの性別をお教えてください。

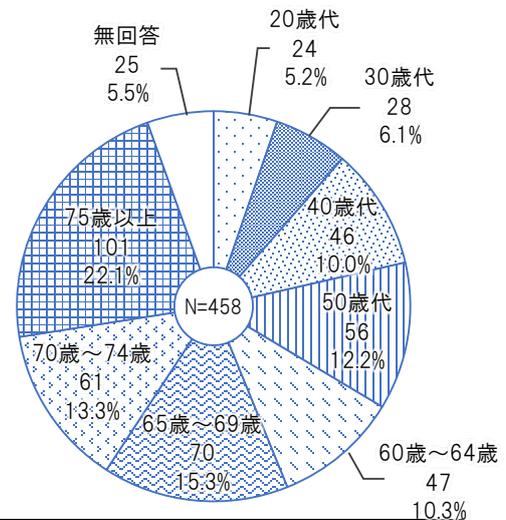
「男性」が39.5%、「女性」が55.5%となっている。



あなたの年齢をお教えてください。

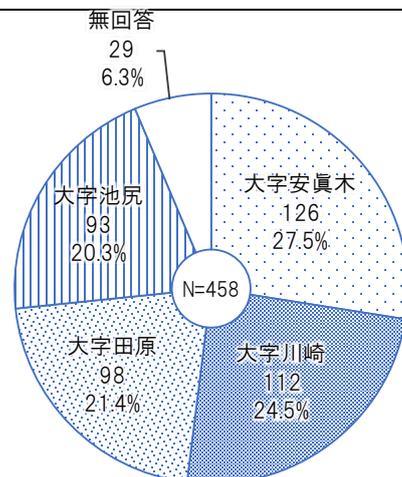
「75歳以上」が22.1%で最も多い。次いで「65歳～69歳 (15.3%)」「70歳～74歳 (13.3%)」となっている。

20歳代～50歳代の回答者は、全体の33.5% (3分の1程度) となっており、60歳代以上の回答が多くなっている。



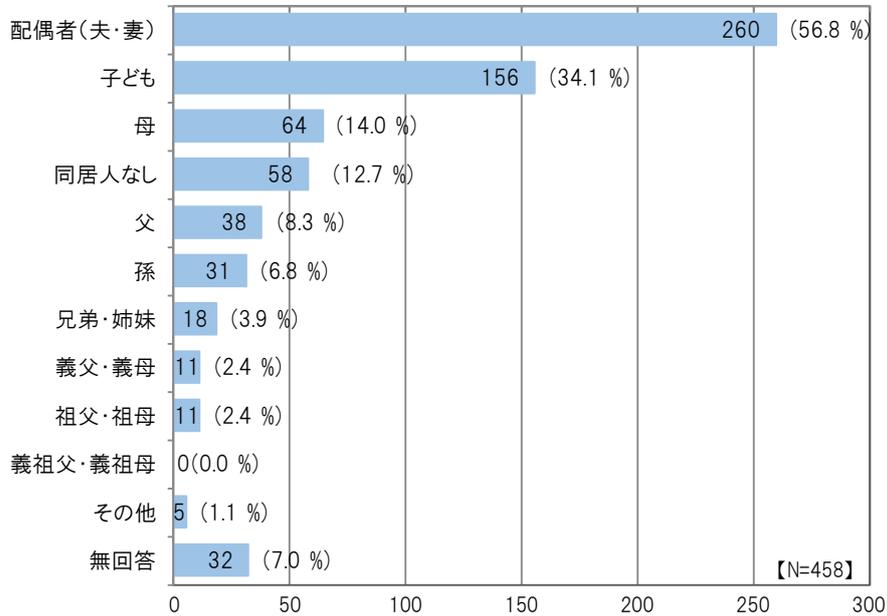
あなたのお住まいの地域をお教えてください。

「大字安真木」が27.5%で最も多い。次いで「大字川崎 (24.5%)」となっている。



あなたが同居している家族をお教えてください。あなたからみた続柄でお答えください。（複数回答）

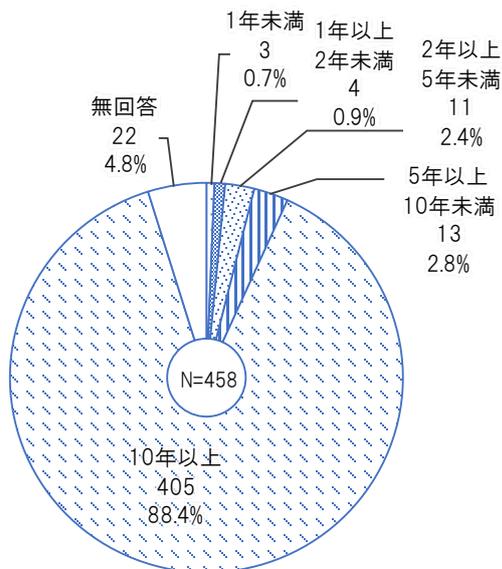
「配偶者（夫・妻）」が56.8%で最も多い。次いで「子ども（34.1%）」となっている。



その他の意見
父の姉
同居人1人

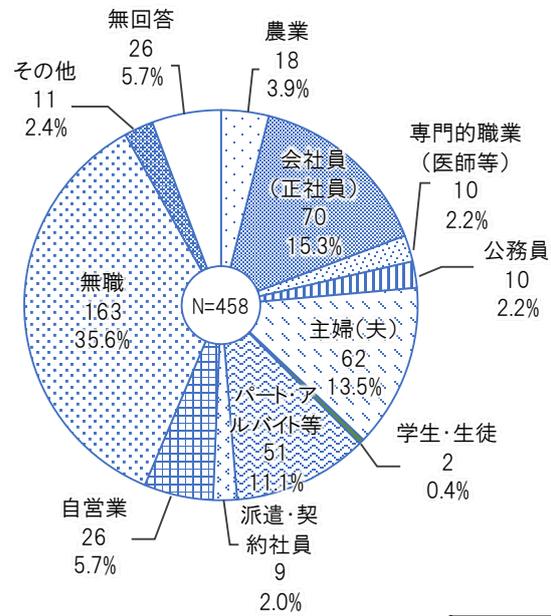
あなたは川崎町にお住まいになって何年になりますか。

「10年以上」が88.4%で最も多い。



あなたの職業をお教えてください。

「無職」が35.6%で最も多い。次いで「会社員（正社員）（15.3%）、主婦（夫）（13.5%）」となっている。



その他の意見	件数
介護士	2
団体職員	1
保育士	1

-凡例-

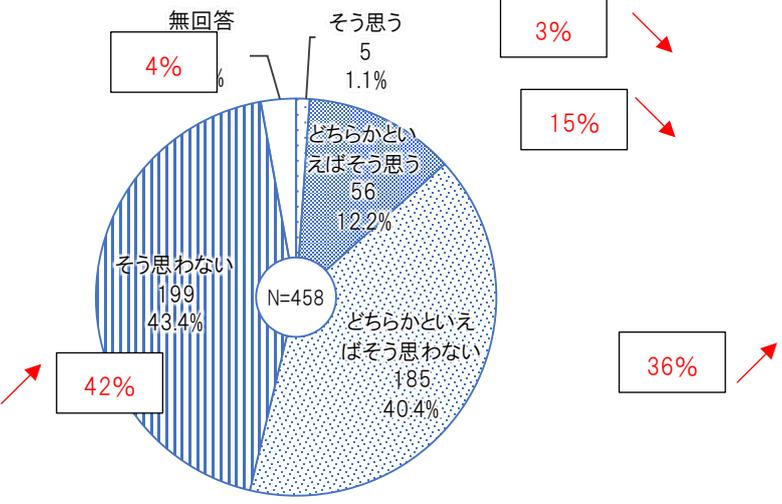
□ % 前回計画時の%

↘ ↗ 前回計画時からの増減

増減の色 赤:悪化 青:改善 黄色:変化なし

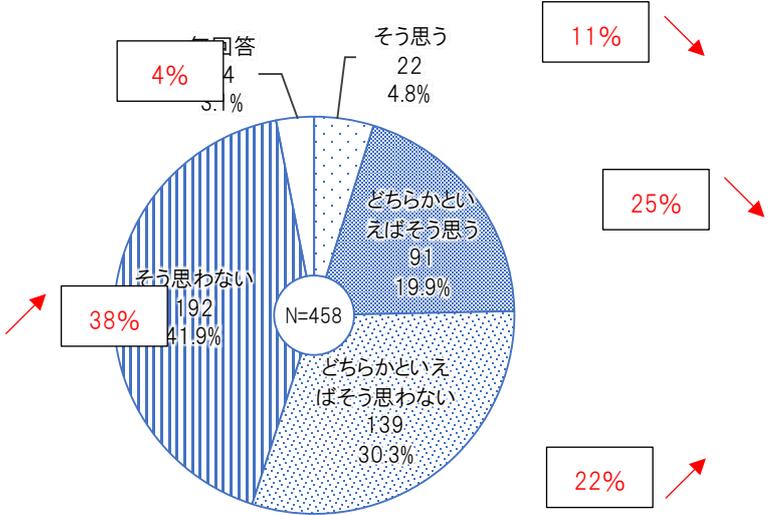
あなたは、川崎町は活気があるまちだと思いますか。

「そう思わない」が43.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(40.4%)」となっている。



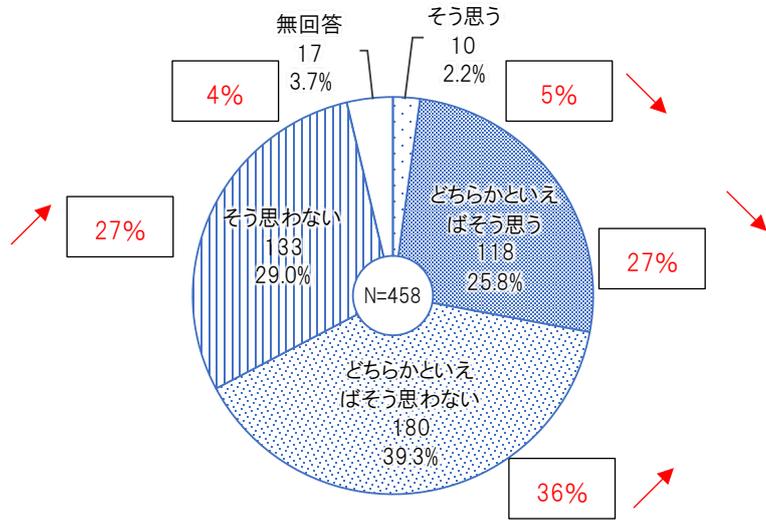
あなたは、川崎町は便利なまち（交通、買い物の便がよいなど）だと思いますか。

「そう思わない」が41.9%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(30.3%)」となっている。



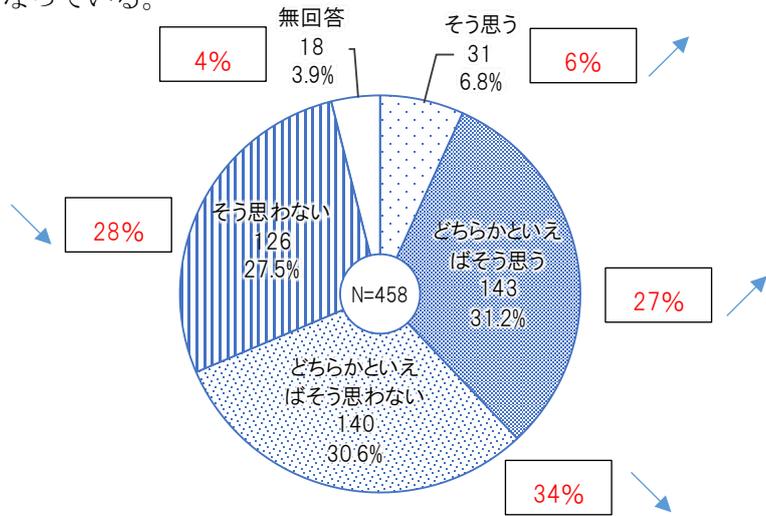
あなたは、川崎町はふれあいや連帯感があるまちだと思いますか。

「どちらかといえばそう思わない」が39.3%で最も多い。次いで、「そう思わない(29.0%)」となっている。



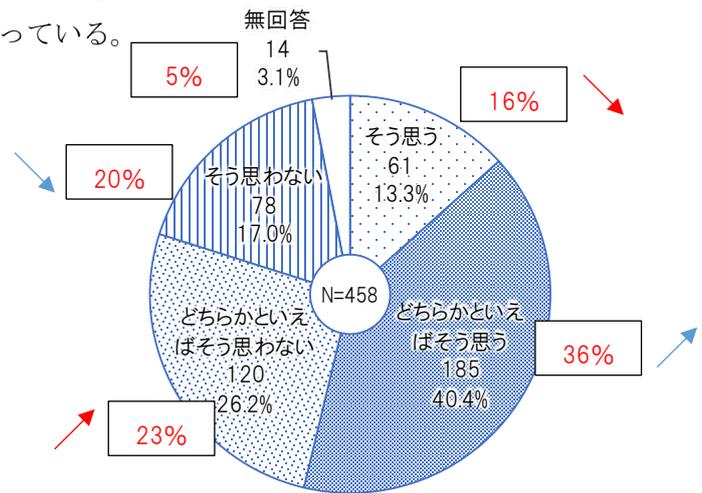
あなたは、川崎町はよその人も受け入れる開かれたまちだと思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が31.2%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない (30.6%)」となっている。



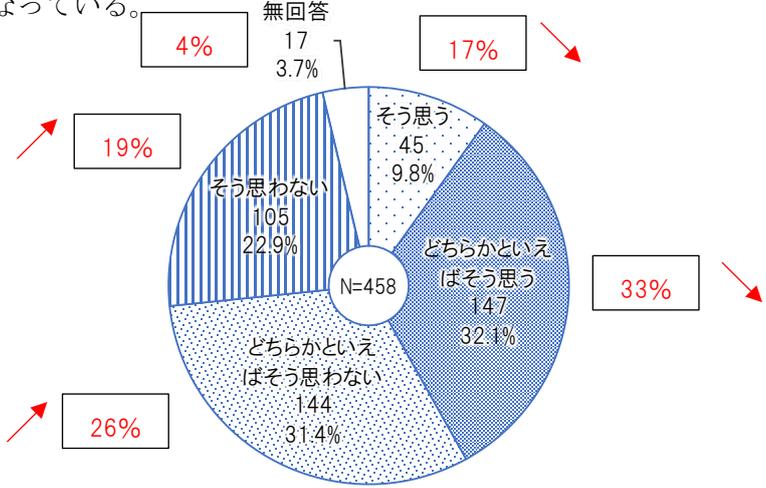
あなたは、川崎町は安全に暮らせるまち（災害、事件、事故が少ないなど）だと思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が40.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない (26.2%)」となっている。



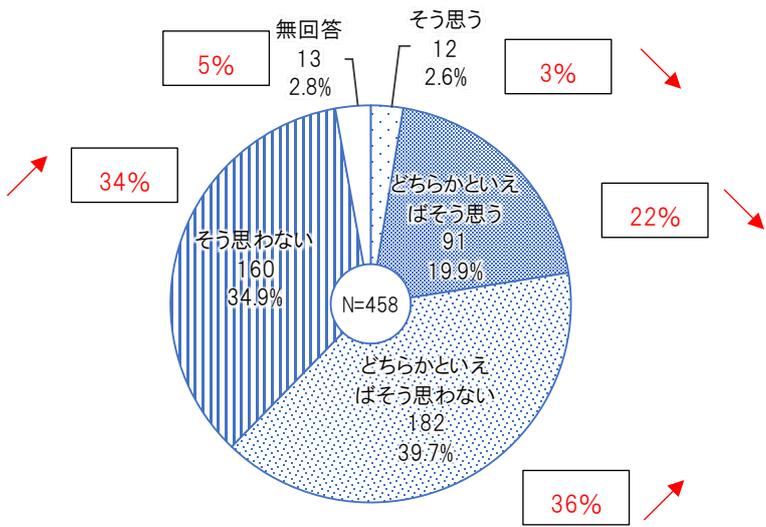
あなたは、川崎町は安心して医療が受けられるまちだと思いますか。

「どちらかといえばそう思う」が32.1%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(31.4%)」となっている。



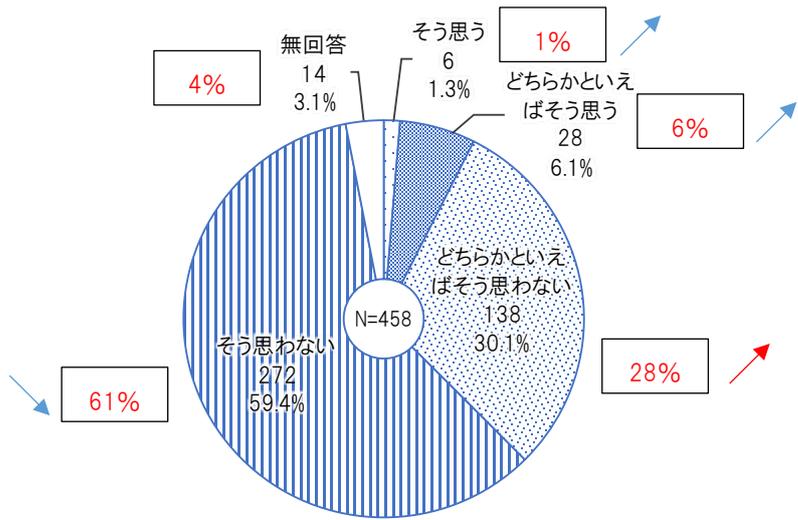
あなたは、川崎町は美しい街（景観や街並み、ごみが散乱していないなど）だと思いますか。

「どちらかといえばそう思わない」が39.7%で最も多い。次いで、「そう思わない(34.9%)」となっている。



あなたは、川崎町は若い人が都会から戻って暮らせるまちだと思いますか。

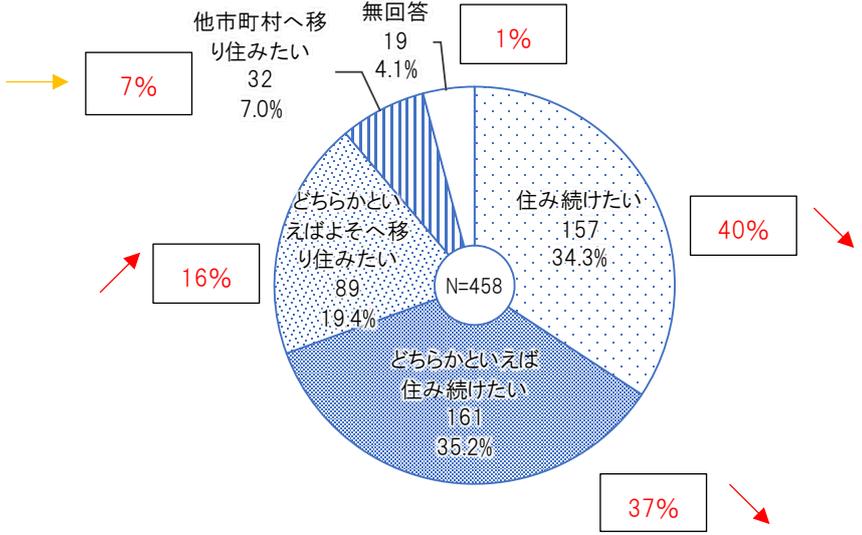
「そう思わない」が59.4%で最も多い。次いで、「どちらかといえばそう思わない(30.1%)」となっている。



あなたは、川崎町に住み続けたいと思いますか。また、その理由をお教えてください。

「どちらかといえば住み続けたい」が 35.2%で最も多い。次いで、「住み続けたい(34.3%)」となっている。

年齢別で見ると、70歳以上は、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を加えると「住み続けたい」と回答した人が8割いるが、30歳代は、「他へ移り住みたい」と回答した人が5割を超えている。



【回答の理由】

※表内の（数値）は同様の意見の数

住み続けたい			
大字 安真木	20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・他町から真崎の方へ越してきた。土地が安く住み良い所だと思うが、周りに買い物にちょっと行く所がない。 ・まだまだ川崎のイメージが悪く、もっと良くしてほしい。 ・もっとやさしく楽に暮らせる町であってほしい。 	
	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・山や川があり、自然が近くにある保育園が多い。米、野菜、果物が美味しい。少しずつカフェやテイクアウトのお店が増えてきたのが嬉しい。 ・生まれた時から住んでいるので、今の環境を変わりたくない。（2） 	
	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や空気の環境が良く、町民も良いので住み続けたい。 ・自分の育ったところだから。 ・ずっと住んでいるから。 	
	60 歳～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれ育った町であり、土地があるから。（3） ・川崎町に愛着があるから。 ・ふるさとだから。 ・他にいく場所がない。 ・定住の地を終の地と思っているから。 ・住み慣れた所だから。 	
	65 歳～69 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・昔から住んでいるから。（2） ・生まれ育った町であり、自然が多くて空気もうまい。 ・まち全体としてはそうでもないが、今住んでいる地区に関しては、良い評価をしているから。 	
	70 歳～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれ育った町だから。（4） ・今、住んでいる地区、自然、環境が好きだから。 ・生まれた場所だから ・川崎町というよりは、この田川は他の地域に人たちの目からは、特に防犯に関わる人たちは、性格がはっきりしていて、素直な部分が多いと言う。その点はよくわかる気がする。悪い所よりいいところを感じそう思って川崎の町を愛していくことが、発展に繋がることだと思います。 	
	75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅が川崎町にあり、地域の皆さんとの交流もできているから。 ・住みやすいから。ふるさとだから。（2） ・長い間住み続けているため。（2） ・年を取っているから。住み慣れた土地であるから。緑が多く、ゆったりできるから。 ・年を取っているから。（2） ・家があるから。（2） ・年老いて知らない所へ住みたくない。 ・土地と家があるから。 ・川崎町に生まれたからには、大事にしたい。 ・そのためには、町長をはじめ、町会議員、農業委員、各団体役員等、全体の意見交換が必要だと思います。 ・この地に生まれ育ってきた川崎町であるから、この地を離れて生活することは考えられない。「俺らがふるさと」であるからである。 ・それは昔から絆が強く、親密感があり、居心地が良いからであるが、川崎町も時代と共に若者の考え方や態度も変化し絆や連帯感の希薄化を心配している。 ・しかしそれは、その世代に生きる人間が順応していくしかないだろうと考えている。 ・川崎町は安心して暮らしていけます。 	
	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・安真木地区は安全な所だと思うから。 	
	大字 川崎	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時から住んでいるので、このまま住んでいたい。 ・勤務先が町内にあり、住み慣れているから。
		50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・長い年、生活しているので離れたくない。 ・結婚してからずっと住み慣れた町で過ごしやすから。
60 歳～64 歳		<ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時から住んでいるから。 ・ふるさとだから。 	
65 歳～69 歳		<ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時から住んでいるから。家があるから。（2） ・高齢なので行くところなし。 	
70 歳～74 歳		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が生まれて育った所だから。自然が残っており、静かな感じが良い。（3） ・ずっと住んでおり、住み慣れた町だから。（2） ・先祖代々の家だから。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町で生まれて、川崎町で死にたいから。 ・長年住んでいるから。(3) ・生まれた時から住んでいるから。(2) ・生活しやすい町だから。 ・災害がなく、友達も多くいるまちだから。 	
	75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・長年住んでいて不自由がないから。(3) 	
大字川崎	75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町で生まれ川崎町で教育を受け、川崎町で働いて、定年退職するまで生活してきました。一生涯を川崎町で過ごすつもりです。 	
大字田原	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲の人たちが優しい。住みやすい町だと思う。 	
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの環境が良いので。 ・住みやすく、人とのつながりがあり、買い物するにもいいと思うから。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた町だから。(2) 	
	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・親がいるから。子どもにも帰る場所が必要であると思うから。 ・生まれ育った町だから。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・実家は便利のいい町ですが、住み慣れ、主治医もいる町から離れがたい。 	
	60歳～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・今の時点では、色々な公共施設やスーパーも近くにあるから。 ・生まれ育った町であり、人情豊かな町であるから。 	
	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに子どもと孫がいる。 ・長く住みたいと思う。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害等がなく住みやすいから。町全体が落ち着いて良いから。 	
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢のため。 ・土地家屋があるため。 ・生まれた川崎町だから。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・地区の周辺に商業施設があり、高齢者の生活に便利であるから。地区隣人の連携・人情の高さが良いから。 ・ここは何をするにしても皆が一丸となって協力し、相互扶助の精神があり、暮らしやすい。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・長年、住んでいるから。 ・高齢のため、他市町村に今さら移りたくない。(2) ・自宅があるから。 ・生まれ育った町故愛着あり。町全体のレベルアップを祈っています。 ・自分の家であり、知人等がいる。 ・災害が少ない。 			
大字池尻	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれ育った町だから。ただ結婚した際には、出て行かないといけないうのかもしれないと思う。 	
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで住み続けて不便に感じたことがないから。便利がいい。(2) ・なんとなく思った。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・職場が近く、周辺に買い物ができる施設があり、生活環境としては特に問題ないから。このまま家族で住み続けたいと考えている。 ・家を守るため。 	
	60歳～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれた町で住居があるから、ずっと住み続けたい。 ・長年住んでいるので。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・生まれ育った町だから。(2) ・町内外を熟知している。 ・自宅近隣は穏やかで昔からの住民が多い。 ・近くの方々は特に問題になる人、比較的友好的。 ・良くも悪くも生まれ落ちた町で、今まで生きてきた色々な思い出が詰まっているから。 	
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・天災等が少なく、介護施設も多いため。 ・住み慣れた町だから。(2) ・川崎町に結婚して来た時は、早く他市へ行きたかったが、今は住めば都というように、もう引っ越しは嫌です。 ・持ち家のため。 	
		75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町に家を購入し住みはじめ13年が経つ。交通便利、お店も近くにあり、病院も近く、人もよく、住み良い町であるため、ずっと住み続けたい。 ・高齢だから、今更どこに住んでも同じ。(3) ・生まれた時からこの町にすんでいるから。(2) ・先祖から預かった山、田、色々あるから。 ・住みやすいから。 ・自然災害が少ない。
			<ul style="list-style-type: none"> ・災害などが少ないから。
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢のため他に移ることは無理だから。災害が少なく、友達が多いから。 		
無	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・災害などが少ないから。 ・高齢のため他に移ることは無理だから。災害が少なく、友達が多いから。 	

無回答	・自宅のある地域は住み心地が良いから。
	・住んでいる地区は先祖の土地で近所付き合いも良い所から。(2)
	・生まれ育った所だから。(2)
	・土地・家屋等の不動産を所有しており、又、生まれて現在まで住み続けているので、移住する理由がない。
	・住みやすい町だと思う。教育委員会関係では、前教育長(讚井教育長)が悪かったので、教育行政がずいぶん悪くなったと思う。だから、やめて良かったです。
・父祖の代からの地であり、自身も生まれ育った地である。	

どちらかといえば住み続けたい

大字安真木	20 歳代	・育った土地なので住み続けたいという気持ちはあるが、交通の便や雇用、治安の面から、結婚、育児を考えた時に住み続けることは現実的ではないと思う。 ・自然がいっぱい住みやすいから。
	30 歳代	・今のところ困っていないから。
	40 歳代	・ずっと住んでいるから。(2)
		・自然が多いから。
		・住環境のうち自然が豊かで静かな所も多く、落ち着いて暮らすことができる。しかし、交通機関や買い物の面では、困ることもあり、町内や近隣で働く場が多くはない。
	50 歳代	・代々受け継いでいる家を守らなければいけないため。
		・住み続けたいため、限界集落を何とかして下さい。
	60 歳～64 歳	・生まれ育った町だから。(2)
		・家も建てて家庭もあるので。
		・自然に恵まれ水も空気もきれいで、住み続けるのは良いが、年を増していくと交通の便や医療等を考える。 ・持ち家がある。地元である以上に町を愛する気持ちがある。しかし現状、その気持ちがいつも揺らいでいる。田舎ほど道路がゴミだらけ。落ち葉、朽ちた小枝でいっぱい。自分の家の100m位はゴミ拾いはしているが。 ・身内がたくさんいるので、離れたくない。
65 歳～69 歳	・この町に家があり、残す必要がある。(2)	
	・農地、資産を所有しているから。	
70 歳～74 歳	・生まれ育った地域で愛着があるから。(2)	
	・近所付き合いや人間関係の繋がりもあり、田舎ゆえの空気・水・騒音なし等、住環境の良さがあるから。	
	・自然や環境・区・組の人たちとの関わりも良いから。(2)	
	・しかし、山奥なので家の周りの草刈り、木の剪定、害虫などの件で住めなくなりつつある状態である。 ・住み続けたいと思うけれど、中山間地居住者は住みにくい。 ・水道が整備されていない。交通において不便である。	
75 歳以上	・区・組とも、みんな協力的で和があるので、住み続けたいのだけど、安真木地区の山の方(安宅)なので、家の周りも畑など、みんな作らなく荒れてしまい、自分の所が作っている畑が集中的にやられてしまっている。老夫婦になり、管理できなくなりつつ不安でしようがない。役継ぐ人がいないので、町の方へいかないといけない状態。	
	・自然があって静かな所だと思う。	
	・住み慣れているから。(2)	
大字川崎	30 歳代	・高年齢だから。 ・川崎町に生まれ、結婚して住み、他を知らないで川崎町に愛情があり、このまま住みたいと思います。住めば都と言いますが、その通りで、私はこの川崎町を深く愛しています。他に移住したいと思いません。 ・安真木地区は静かで穏やかで住環境としては最高と思っています。 ・しかし、車がないと近くに商店街がなく不便なのが難点です。
	40 歳代	・他にいきたい所もなく、移住も面倒なので。
	50 歳代	・持ち家があり、受け継ぐため。(2)
	60 歳～64 歳	・しかし、治安に不安を感じることもあり、安全な町であれば住み続けたい。
		・子どもの頃から住み慣れた町だから。
・車がなければさほど不便は感じないが、老後は心配。		
60 歳～64 歳	・車の通りが少なく静かなので、今から先ずっと住み続けたい。	
	・地域に慣れているから。	
	・生まれたところだから。	
	・持ち家がある。	
60 歳～64 歳	・行く所がないに等しい。	
	・先祖代々、住んでいるから。	

	65 歳～69 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢的にも住み慣れた町が良いため。(2) ・馴染みの方や馴染みの店、また、この町で仕事を続けてきて助けられてきたから。 ・何十年も住んで、この年でよその地には行けない。
	70 歳～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・他にいく場所がないから。 ・子どもの頃から育ってきた町であり、思い出も多く、知人・友人等も多いため。 ・交通の便が良くないけど、災害が少ないので。 ・病院、スーパーなど買い物が便利。
大字川崎	70 歳～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・生まれ育った町なので、外に移り住みたくはありませんが、病気になった時、車の運転ができなくなった時の事を考えると不安になります。 ※町立病院の医師が1年位で変わったり、患者とのコミュニケーションもあまりとっていないように思います。 ※ふれあいバスの件ももっと町民の立場になり考えてほしい。
	75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になり、今更、他町村へ移りたいと思わないから。(2) ・町民各位の義理人情が厚く、長く住みたいと思う。そのためには49ある行政区を代表して、15位の行政区を町長さんが任命。1ヶ月に1回、住み良い明るい町にするためには如何すればいいか、建設的な意見を出しながら意見交換すべきだと思っている。
大字田原	20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・実家が川崎町だから。 ・親がいるから。
	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・他の市町村に比べて子どものことが全然できていない。他は学校にスクールバスを出すなど、今年の4月から保育料が無料なのに、国が10月からと言うため、10月からじゃないとできないなど、町長の選挙の時は4月から保育料を無料などと言ってしてくれない。町長の家の前だけ、車を出し入れしやすいようにしている。町民の事をもっと考えてもらったら、住み続けたいと思う。
	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育環境を変えたくないため。 ・住民税が高く、生活保護費で財政が圧迫されており、真面目に頑張っている人や本当に救済を必要とする人たちが報われない町になっている。 ・また、そういった負の連鎖を利用する者も多い町。 ・先祖から住み続けているから。 ・過疎化を止めれば住みよい町ではあると思う。人口の流出しない仕組み、若い世代が残れる町づくりができれば残りたい。
	60 歳～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けた町。 ・ひとり暮らしなので、頼れる人もいないので。
	65 歳～69 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・長年住んでいるから。(2) ・生まれた町であるから。 ・三井の炭住宅を改良してもらい、新築に入居でき安心して生活しているから。 ・子ども達も町内に住んでおり、このまま川崎町で生活していきたい。 ・静かで、台風や大雨など災害が少なく、自然が豊かだから。 ・健康診断が無料で受けられるから。 ・子どもたちが皆県外におり、私たちが健康な間は住み続けたいが、病気や老いてしまうとどうなるか不明。なるべく長い間、健康でありたい。
	70 歳～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ずっと住んでいるから。 ・災害や事件が少ないから。
	75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・長年住んでおり、年取った今、他に移り住むこともできないから。(2) ・先祖代々この地に住んでいるため、他に移りたくない。 ・若い者は働ける場所がないので、他県へ移住する。若い者が少ないと子どもも少なくなる。学校教育も良くないので、子どものために他県へ移る。 ・働く場所もなく子どもの教育も悪い町になってきている。町を根本から考えることが必要。
大字池尻	20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れた所だから。 ・出て行きたいと思うが、美味しい食事処があるので、住み続けたい。 ・父が住む町だから。
	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなモールや若い人たちが遊べる所があれば良い。 ・若い人たちが働ける場所や環境も欲しい。 ・のんびりと住みたいので。 ・今の生活でも満足できているし、移住したい理由も特にないから。
	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・交通が大変良いと思う。
	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・お店が近くにあるアパートに引っ越したい。 ・お店が続く限りは、川崎町に住む。人情のある方が多いと思います。 ・今更、他所に行くのが面倒だから。

		<ul style="list-style-type: none"> ・子どものころから暮らしている家で環境も良く、隣組の人々も神社の行事も大切に思っているので、できればずっと同じ場所で生活していきたいが、家が老朽化し過ぎて引っ越ししなければならない状態になっている。
	60歳～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・今は住み続けたいと思っている。 ・交通の便は悪くても、自家用車を運転して移動が可能だから。田舎の方が好きなので、今の町（山、川、田畑の見える風景）に不満はない。 ・年齢的にも経済的にも他への移住はできないから。
	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしで長年住んでいるから。 ・生まれた時から住み慣れているから。 ・自分が生まれ育った町だから。両親が川崎に在住。 ・公共施設の近さ。コンビニ・商店の近さ。町民用共同浴場の設置のありがたさ。
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・長年暮らした町だから、愛着がある。 ・長く住んでいるから。
大字池尻	75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、住んでいるから。 ・自分の家で最後まで夫婦2人で静かになるべく子どもに迷惑のかからないように楽しく暮らしたい。 ・筑豊地方に住むのであれば、便利の良い町と思います。大型のスーパーやドラッグも近くにあり、田川市の医療機関も利用できたりするから。
	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・ずっと住んでいて慣れているから。 ・自然災害が少なく、野菜が豊富で安いから。 ・生まれた町だから。 ・他に行くところもないので。 ・②ですが、まず町内が汚い。歩道が草におおわれ車が通れないほどに草が道に出ている。交通便が悪いし、医療費が大変です。川崎町の景観は悪くなる一方です。何とかしてください。

どちらかといえばよそへ移り住みたい

大字安真木	20歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人（10～20代）に不良や喧嘩、暴走族なども多く深夜帯うるさい町だから。 ・不便で、給料が安い実家にいるという理由。 ・仕事がない。
	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪く、公共交通機関の便も割りため。（2） ・仕事がない。治安があまり良くない。 ・住む所が少ない。よそ者を拒む地域がある。 ・不便だから。仕方ないし、引越す理由がないから今住んでいる。 ・ある地域は下水道の整備がされていないし、通信機器が使用できない。夜は街灯がなく暗闇である。高齢者が多い地域には県道に歩道があるべきだと考えるが、そこに歩道はなく、この先交通事故がゼロであるかを思うと住み続けたいとは思わない。 ・生まれ育った町なので、できれば住み続けたいが、自分が高齢者になった時に、自宅周辺に同世代がほぼいないので、地域コミュニティがない可能性が高いため。
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に住んでいた町の方が住みやすかったため。 ・交通の面で不便だから。 ・遊ぶ所や買い物、飲食店が少なく、楽しむことができない。車を持っていない人は大変不便なため。 ・交通不便（バス・電車）、病院不足（ほぼ老人施設）、住宅不良（アパート・マンション不足）、主産業なし、働き手不足、後継者不足。
	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・国保税が高い。 ・議員の質が良くない。 ・仕方なく住んでいる。 ・高齢になると買い物や通院の交通手段に不安がある。（3） ・学力の低さ。 ・公共意識の低さ。
	60歳～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪く、車の運転ができないと生活が不自由になる。年を取り一人暮らしになった時に不安がある。（2） ・昼間でも人の姿がなく、寂しすぎる。 ・他の市町村の人から、ガラが悪いと言われる。 ・福岡市に買い物や催し物に行くのに、交通の便が悪い。
	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・他所者を受け付けない雰囲気がある。 ・年を取ると田舎は不便なので。 ・福祉の問題等、老後が心配だから。介護保険など、他町村に比べ高い。

	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・将来が不安。・家・庭・田・畑の管理が不安。 ・環境が整っていない。水道が通っていない所があるから。 ・静かな村で自分で農業をし、自給自足の暮らしをしたい。
	75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教育と環境が問題だから。 ・交通の便が悪い。(2) ・バスを安真木～池尻の方へ巡回して欲しい。 ・土地、家屋等があるため、他所に移ることができない。 ・高齢化するばかりなのに、免許証返納したら生活が成り立たなくなる。できることなら、便利な町に住みたいけど、今更どうしようもない。
大字川崎	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てがしづらい。学校環境が良くないと思うから。 ・ある程度大きな公園が川崎中心部に欲しい。 ・生活保護世帯が多く、ガラが悪いイメージがある。
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けたいと思えないから。
大字川崎	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町の良さが今一つ分からない。遊ぶ所も観る所もなく、外観が美しい訳でもなく、自慢できる所が見つからない。唯一、川崎の救急車の人がとても優しくかった(添田の救急車に乗っている人は、すごく態度が悪くきつい感じの人だった)。 ・佐賀にあるような、東京にあるような図書館(喫茶付き)や女性が一人でも入れるような泊まれる居酒屋等があると良いです。 ・映画館や大濠公園みたいな所もほしい。 ・充実度も満足度も全くないです。
	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・パチンコばかりの町で、イメージが悪いから。 ・雇用が少ない。 ・役場の人、職員がいい加減だから。川崎町を良くする前に役場の体制を考え、良くすることだ。それが町のためになる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・税金が高い割に福祉の充実が図れていない(救急医療など)。 ・交通の便も悪く、将来運転できなくなった時に不安である。 ・生活保護世帯の方の生活水準が働いている方に比べて良いケースが多いように思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通が不便だから。買い物、病院の難民になりそう。(2)
	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護者が多いため。違法者が多いため、もっと細かく調査すべきである。 ・買い物が不便だから。車がないと病院にも行けない。 ・自分が働けるうちは、買い物、病院などは車で行けるが、車を運転できなくなるとどうしようもない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミや雑草など荒れ放題。 ・買い物する店がない。 ・近所と話ができない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の連携が薄いと感じるから。
70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・お金がない 	
75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護者優先の町だと思うから。 ・足がなければどこへも行けず、町からの手助けや対応もないから。ふれあいバスだけでは高齢者は移動できない。 	
大字田原	20歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・近場に大型ショッピングモールがないから。 ・車でしか移動手段がないから。 ・治安が悪いと思うから。(2)
	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・お祝い金や保育料など田川市に比べると利益がない。 ・もらわなくてもいい人が生活保護を受けているから。
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラが悪く、怖いイメージであり、町のイメージが悪い。パチンコ店が多い。 ・生活保護の不正受給者が多いイメージがある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・災害には安心だけど、怖い人(やくざ)が多いから嫌だ。 ・よそから来たから愛着がない。
	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・土地・家があるため生活しているが、老後を考えると不安がある。できれば都心部で生活したい。 ・治安が良くないので。
		<ul style="list-style-type: none"> ・これからだんだん年を取っていくので、運転するのが大変です。交通機関の便利な所に移り住みたい。病院も整形外科が増えてほしいと思います。
	60歳～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉づかいが悪い。ガラが悪い。 ・仕事がない。
65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの散乱が目につく。 ・川崎町は評判が悪く、外から来て初めて分かった。差別的な目で見られたことがある。パジャマ姿でスーパーに買い物に来る人や汚い言葉づかい等、品がない。 ・災害に関しては少なく、非常に住み良い。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・他市町村は家賃や税金の滞納者は町から出てもらい新しい住民を受入れているが、川崎町はそうではない。滞納者が強い町である。滞納者に対して、職員は何もできない。品物を競売にかけて厳しくすれば滞納者も減るのではないか。 ・団地内（駐車場）で畑を作っていたところがあるが、放置されている。町が植えたつつじなどの植木も、撤去し駐車場にするか、歩道にすることを考えて欲しい。手入れがされておらず、汚い。
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・移り住みたいけど、年齢・家などでできない。
大字池尻	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくない。
	60歳～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・都会近くの高層マンションや一軒家（海の近く）に住んでみたい。 ・田舎は嫌いだ。
		<ul style="list-style-type: none"> ・車の運転ができなくなった時、とても不便、不安に感じるから。（2）
65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・老齢になって車に乗れなくなると買い物や病院等に大変不便だと思うので、病院や買い物がすぐ行ける場所に住みたい。 ・税金やゴミ袋代や健康保険料が高い。 ・地域住民になじめない。 	
	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・家を建てたので仕方がない ・年を取り続けこの先の不安がある（車の運転、スーパーが近くにないなど）

他市町村へ移り住みたい

大字安真木	20歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・田川市や添田町などでは、出産祝い金がもらえるのに、川崎町ではそういった制度がない。保育料無償化も田川市が1番最初に始めており、川崎町は何をするにも行動が遅いと思うため。
	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・老後、買い物、医療に不安を感じる。 ・町に仕事がないので、子どもも帰ってこれない。
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・人間性の質の悪さ。
大字川崎	20歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・就職する際、福岡市や北九州市の方が多くの会社があって、決まりやすそうなため。 ・交通の便が悪いため。
	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・何もないから。 ・他の市町村の方が、子育て支援が充実している。 ・保育料も給食代の集金が、銀行振り替えができるようになっている。 ・福祉も充実していないと感じるため。
		<ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしい。
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護不正受給者をもっと厳しく取り締め、申請を簡単に受理しないで欲しい。本当に保護を受給しなくてはいけない人には受給しなくてはいけない。私の周りの生活保護受給者の子どもも、仕事もせずに楽に生活ができるためいずれは生活保護になると思う。生活保護の子どもも18歳になれば働けるのだから、受給を切るべきである。生活保護不正受給に怒りを持っている。
50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・車がないため、交通手段がタクシーしか使えない。町のふれあいバスもあるが、家からは遠くて行けない。 	
大字田原	20歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い。 ・働く場所（正社員として）が少ない。
	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・税金がとても高い。税金の使い道が適切ではない。 ・犯罪が多い。 ・働く会社が少なく、ブラック企業が多い。 ・交通の便が悪い（車なしでは無理）。 ・物価が高い。 ・医療が適切でない（医療が受けられない人のためにもっと改革すべき）。
		<ul style="list-style-type: none"> ・福岡や北九州や行橋などと比べ、高速道路のインターチェンジなど便利がよくなり、大型の店舗なども車で移動しなくてはならないので。
	60歳～64歳	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物・病院など、年を取るにつれて大変だと思う。 ・ガラが悪く、ごみなどが散乱していて汚いと思う。
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的に働く場所がない。 ・生活保護者が多く環境が悪い（若者が働かず、パチンコ等のギャンブル者が多い）。
大字池尻	20歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪すぎるから。
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・役場が全く町民のために動かない。何の仕事しているのか信用できない。
	50歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多く管理が大変。
	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・交通機関が不便。
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・福岡市に住みたい。

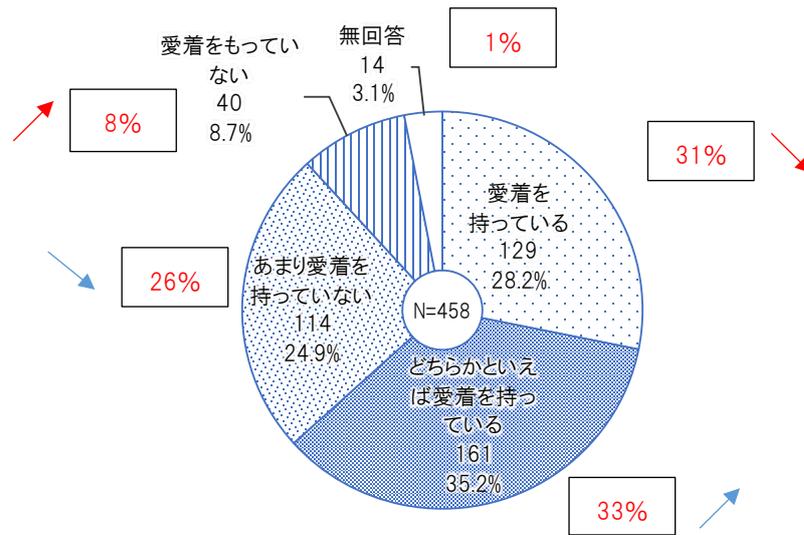
	75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと老人に冷たい町だと思う。老人が多く通う田川病院に行くのに、交通の便が悪く、コミュニティバスも池尻から田川市に行かず大変便利が悪い。 ・中学校を統合して現・川崎中に行く安宅、池尻方面の子どもには、予算がないためにバス通学はできないようになっている。予算がなければ、町議又は職員を1～2名減すれば予算が出る。これからの子どもたちのために考えなければいけない。町民のための議会と町役場であって欲しい。
無回答	無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・町長、町会議員がしっかりして欲しい。町の人に目を向けてほしい。 ・イメージが悪い。 ・少子高齢化が今後急速化すると思われます。若者にとっては、働き場所があり、家族が安心して生活できる場所がある。子育て期：学校への通学路、子育て支援、高齢者：福祉の充実→交通機関、働く意欲のある元気な高齢者の力を借りる。学生ボランティアの募集（ポイントあり）など、改善すべき点はいろいろありますが、このままであれば町の崩壊になると思います。

あなたは、川崎町に「自分のまち」という愛着を持っていますか。

「どちらかといえば愛着を持っている」が 35.2%で最も多い。次いで、「愛着を持っている」(28.2%)、あまり愛着を持っていない(24.9%)となっている。

年齢別でみると、「愛着を持っている」と「どちらかといえば愛着を持っている」を加えると 70 歳以上は 7 割を超える人が「愛着をもっている」と回答している。

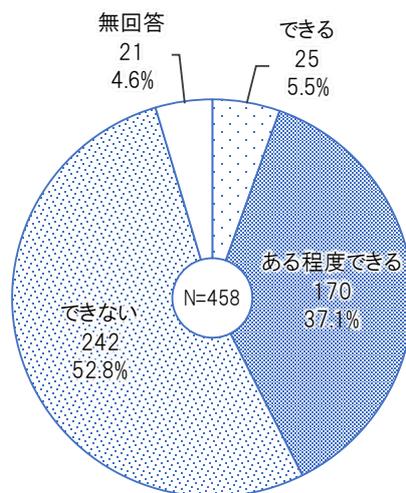
しかし、20 歳代と 60 歳～64 歳は、愛着をもっていない割合が高くなっている。



あなたは、川崎町の良いところを町外の人に説明できますか。

「できない」が 52.8%で最も多い。次いで、「ある程度できる」(37.1%)となっている。

年齢別でみると、30 歳代は「できない」と回答した人が 7 割を超え、40 歳代は「ある程度できる」と回答した人が 5 割を超えている。



4. 川崎町のまちづくりについて

あなたが、川崎町が町の魅力として発信していくべきだと思うものは何ですか。人物、食べ物、イベント、産業、場所、施設、歴史、物語、方言など何でも自由に上げてください。

町の魅力として発信していくべきだと思うものについて、「イベント」を挙げた人が最も多く、次いで「食べ物」「施設」「歴史」となっている。

イベント		159
イベント		105
パン博など		29
盆踊り等の祭り		10
福祉まつり		3
地域のお祭り		2
パンだけでなく食品の展示会		1
産業祭（ふっとうてん）		1
自然の豊かさを活かしたイベント		1
真崎の祇園祭り		1
体験型イベント		1
獅子舞		1
神興祭		1
神幸		1
地域公民館でのイベント		1
文化的行事・イベント		1
食べ物		146
食べ物		109
農産物		7
米		5
野菜		5
町特産品		3
果物		3
川崎町名物の食べ物		2
りんご		2
物価が安い（食材）		2
名産品の発信		2
から揚げ		1
地元産物を活かした料理		1
田舎ならではの特産物のアピール（天然の山芋＝自然薯）等		1
水		1
トマト		1
みかん		1
施設・場所		138
施設		58
場所		42
ラピュタファーム		8
De 愛		4
保育園・幼稚園が多いこと		3
施設（道路）		2
何か分からないけどここにしかない施設や風景		1
劇場がある		1
公園		1
散歩コース		1
図書館等公共施設		1
多目的会場		1
給食センター		1
買い物が便利（スーパーの多さ）		1
パチンコ屋が多いこと		1
場所（安真木）		1

De 愛からトンネルまでの散歩道	1
ふるさと館 De 愛までの道	1
お店	1
スーパー川食	1
なひこ畑の設備の美化	1
月に一度の食育館	1
現在ある道の駅を活気あるものに活用する	1
施設 (BG など)	1
老人のお茶をする所	1
おおとう街道	1
フェゼント C.C.	1
歴史	85
歴史・史実	76
炭鉱の歴史	7
史跡	2
産業	67
産業	63
若い人が働ける産業	2
新たな産業	1
地元の産業	1
人物	55
人物	42
人が優しい	3
町のために活動してくれる人	2
人情	2
誠実	1
思いやり	1
子ども係の方が心配事があると丁寧に対応してくれる	1
自治体としての人権意識の高さ	1
町職員の対応が良い	1
町民の人柄	1
自然	29
自然	18
環境	2
空気	1
ほたる	1
マサ木の道の駅近辺の川棚	1
安宅の自然	1
安宅の彼岸花	1
安真木地区の景観	1
炭層の種類	1
川	1
風景アピール	1
観光	27
魚楽園	12
雪舟の庭	5
観光	3
ぶどう・柿等果樹園としての PR	1
りんご園等観光	1
神社などパワースポット	1
淡嶋神社	1
魚楽園を桜街道みたいになりたい	1
小梅ちゃんの湯	1
雪舟ロードの活用 (蛍見物・マラソン大会など)	1
安心・安全等	9
災害が少ない	6

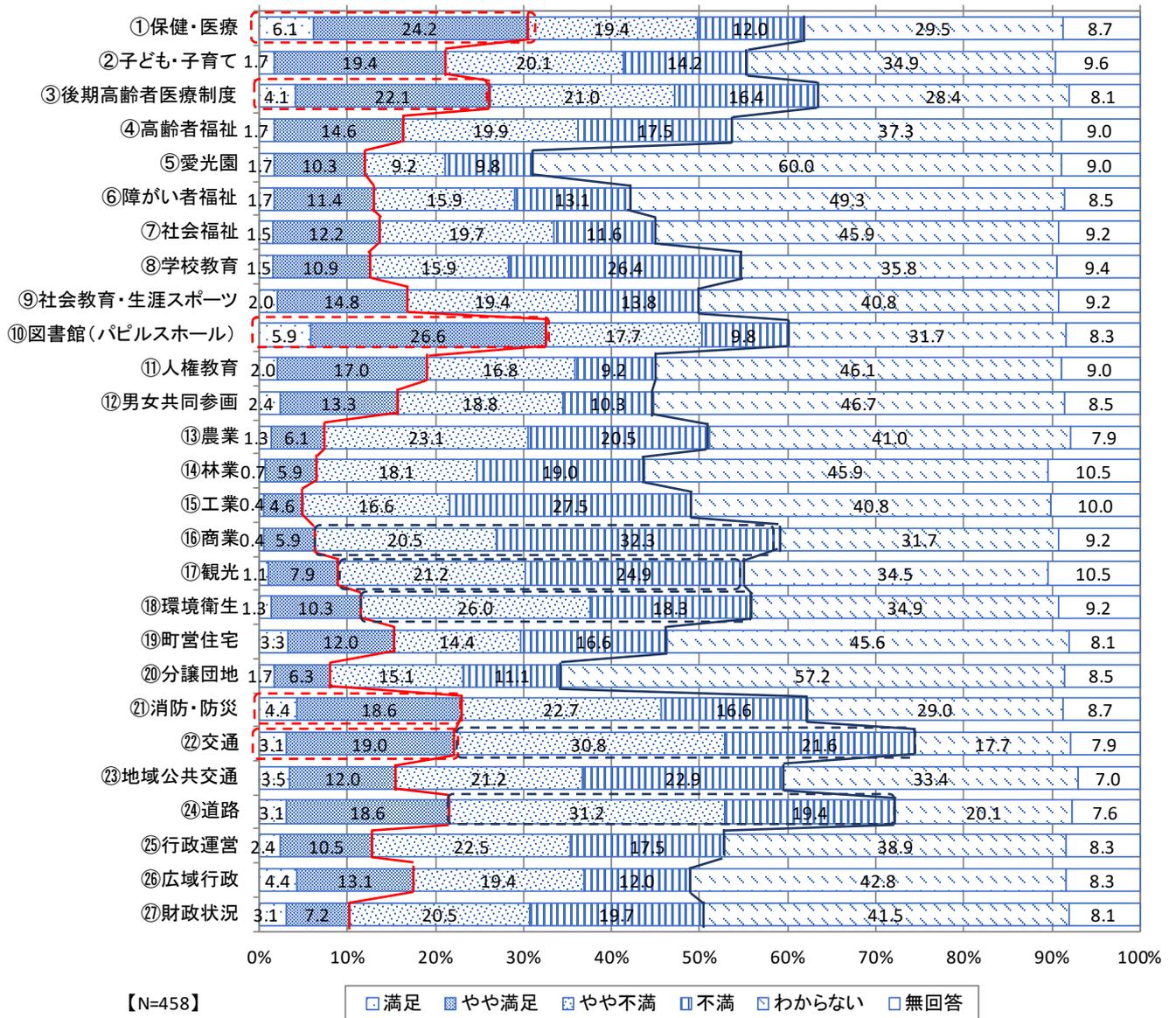
安全	1
治安の良さ	1
住みやすさ	1
医療	6
医療	1
健診が無料	1
病院	1
健康づくり	1
早めの用心のための健康診断	1
町立病院の存続と整備	1
その他	48
方言	14
物語	7
交通	3
小梅ちゃん	3
農業	2
スポーツ	2
子育て	2
教育	1
福祉	1
エコ	1
リサイクル	1
市に隣接	1
福岡・北九州の2つの政令指定都市に近い	1
新しい団地	1
努力	1
絆	1
良いモラル	1
ジョイフルの売上げが日本一ということ	1
剣道	1
静か	1
日田彦山線 (JR)	1
他地域への移動が良い (但し車で)	1

あなたが川崎町で暮らす中で、以下の1～27の項目の満足度と今後の重要度について、あなたのお考えに近いものを選んでください。

【満足度】

満足度が高い上位5項目は、「⑩図書館（パピルスホール）」「①保健・医療」 「③後期高齢者医療制度」 「②消防・防災」 「②交通」。

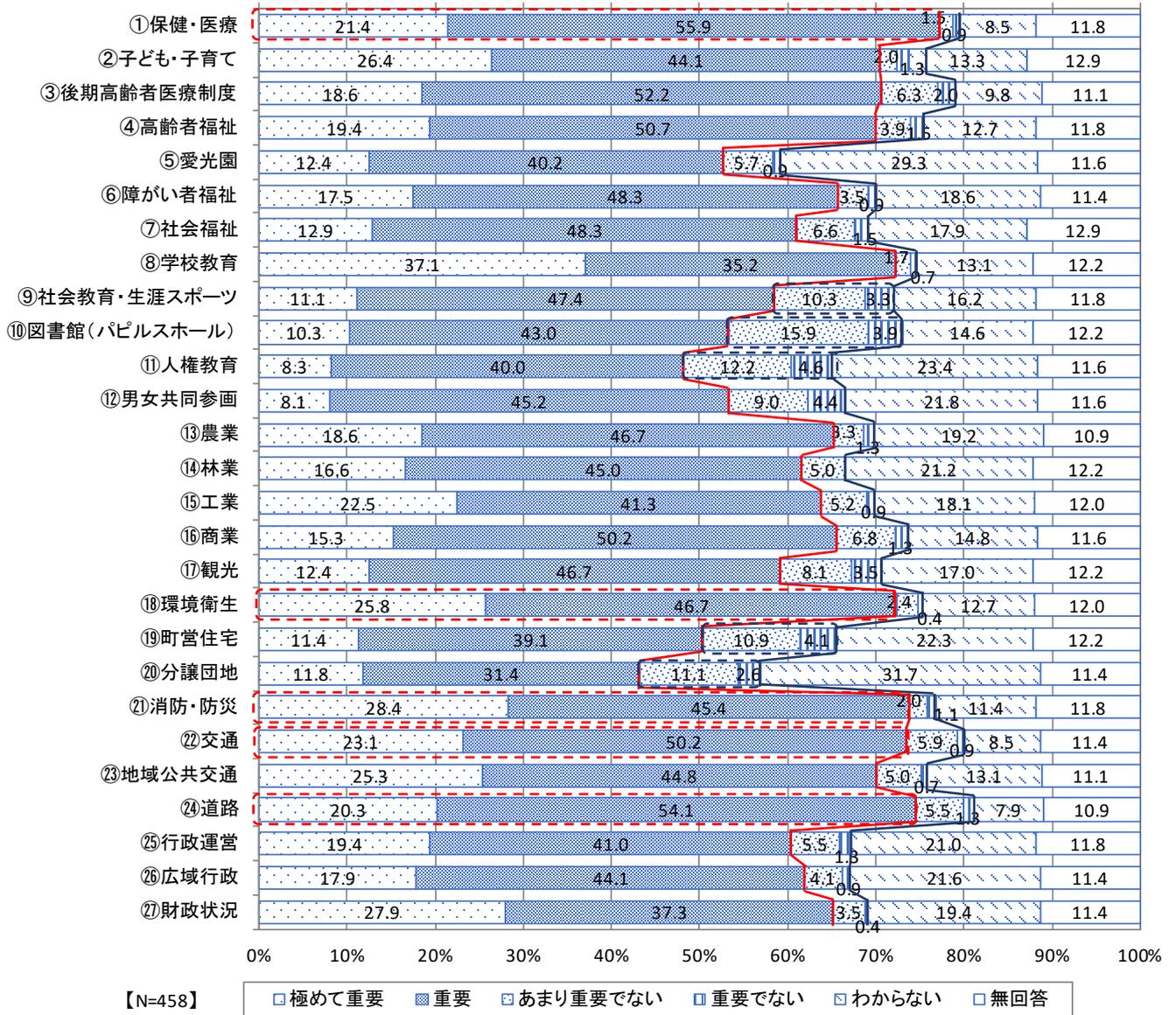
不満度が高い上位5項目は、「⑩商業」 「②交通」 「④道路」 「①⑦観光」 「⑩環境衛生」。



【重要度】

重要度が高い上位5項目は、「①保健・医療」「②④道路」「②②消防・防災」「②②交通」「①⑧環境衛生」。

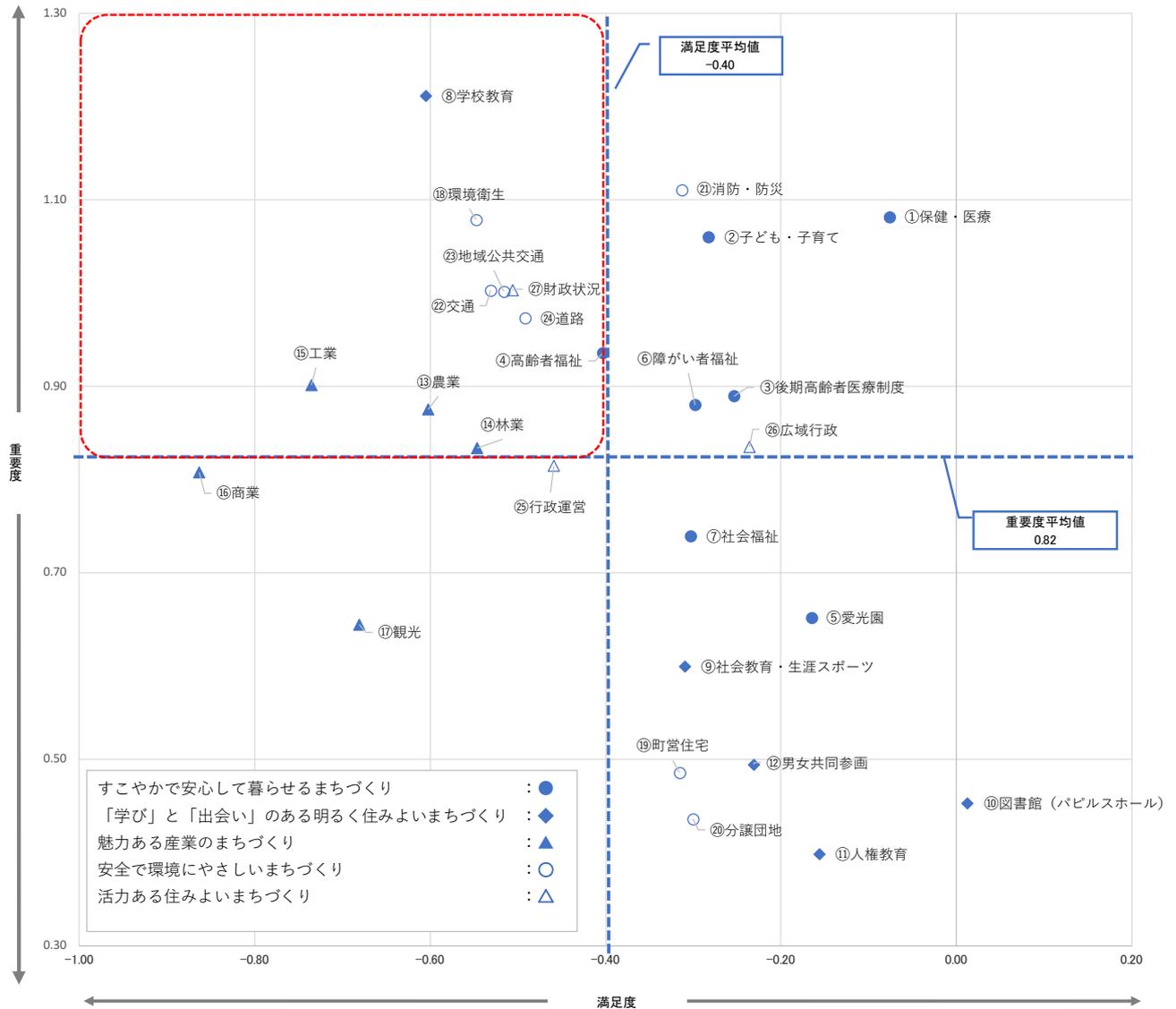
重要度が低い上位5項目は、「⑩図書館（パピルスホール）」「⑪人権教育」「①⑨町営住宅」「②②分譲団地」「⑨社会教育・生涯スポーツ」。



【川崎町の取り組みに対する重要度と満足度の相関関係】

町民が、「重要度が高い」と評価している取り組みの上位5つは、「⑧学校教育」「⑫消防・防災」「①保健・医療」「⑱環境衛生」「⑫子ども・子育て」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取り組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「⑫交通」「⑫地域公共交通」「⑫財政状況」「⑫道路」「④高齢者福祉」「⑮工業」「⑬農業」「⑭林業」が挙げられる。



【加重平均の算出方法】

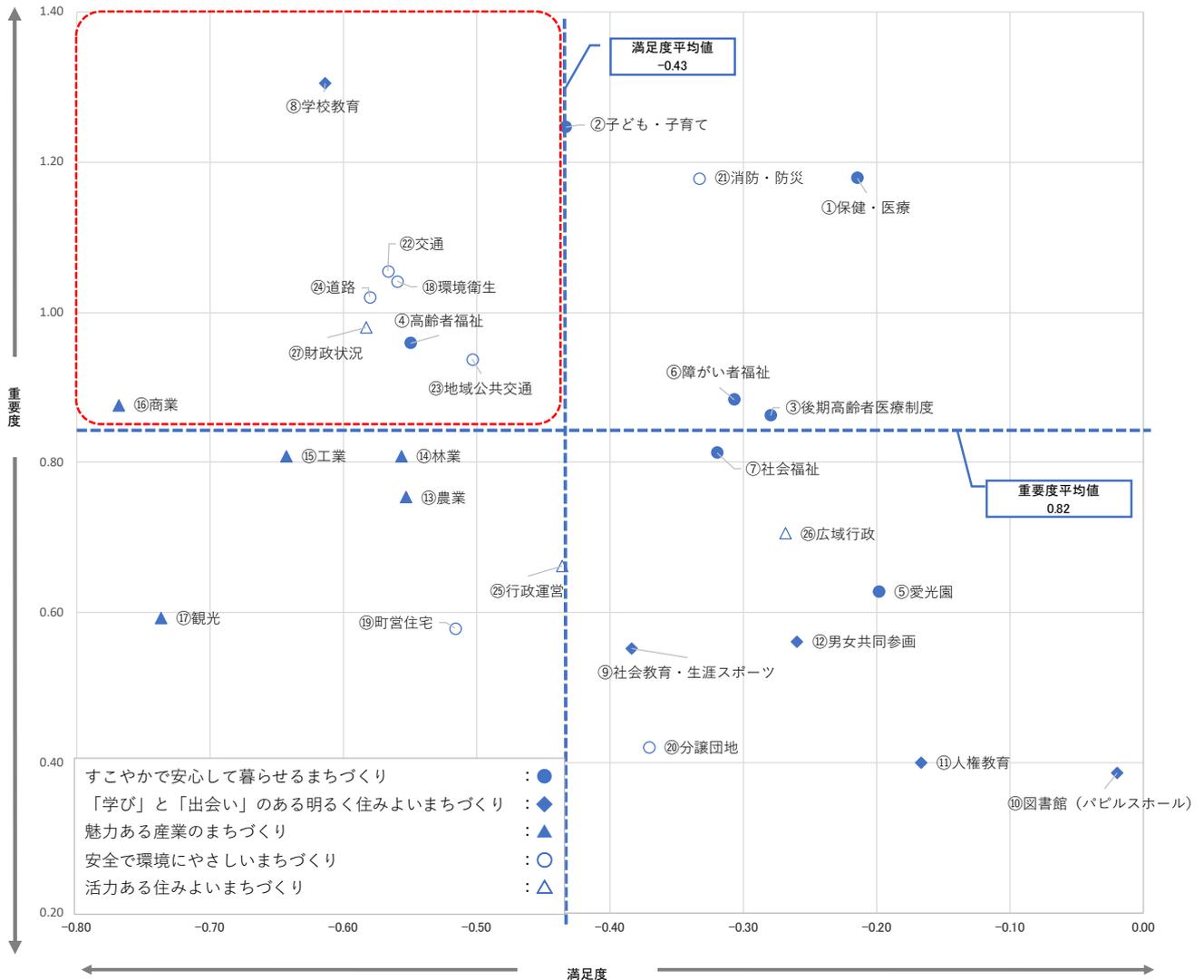
①満足度		②重要度	
満足	: 2点	極めて重要	: 2点
やや満足	: 1点	重要	: 1点
やや不満	: -1点	あまり重要でない	: -1点
不満	: -2点	重要でない	: -2点
わからない	: 0点	わからない	: 0点

左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

■20～50 歳代（n = 154）

50 歳代以下の町民が、「重要度が高い」と評価している取り組みの上位 5 つは、「⑧学校教育」「②子ども・子育て」「①保健・医療」「②②消防・防災」「②②交通」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取り組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「②②交通」「①⑧環境衛生」「②④道路」「②⑦財政状況」「④④高齢者福祉」「②③地域公共交通」「①⑥商業」が挙げられる。



【加重平均の算出方法】

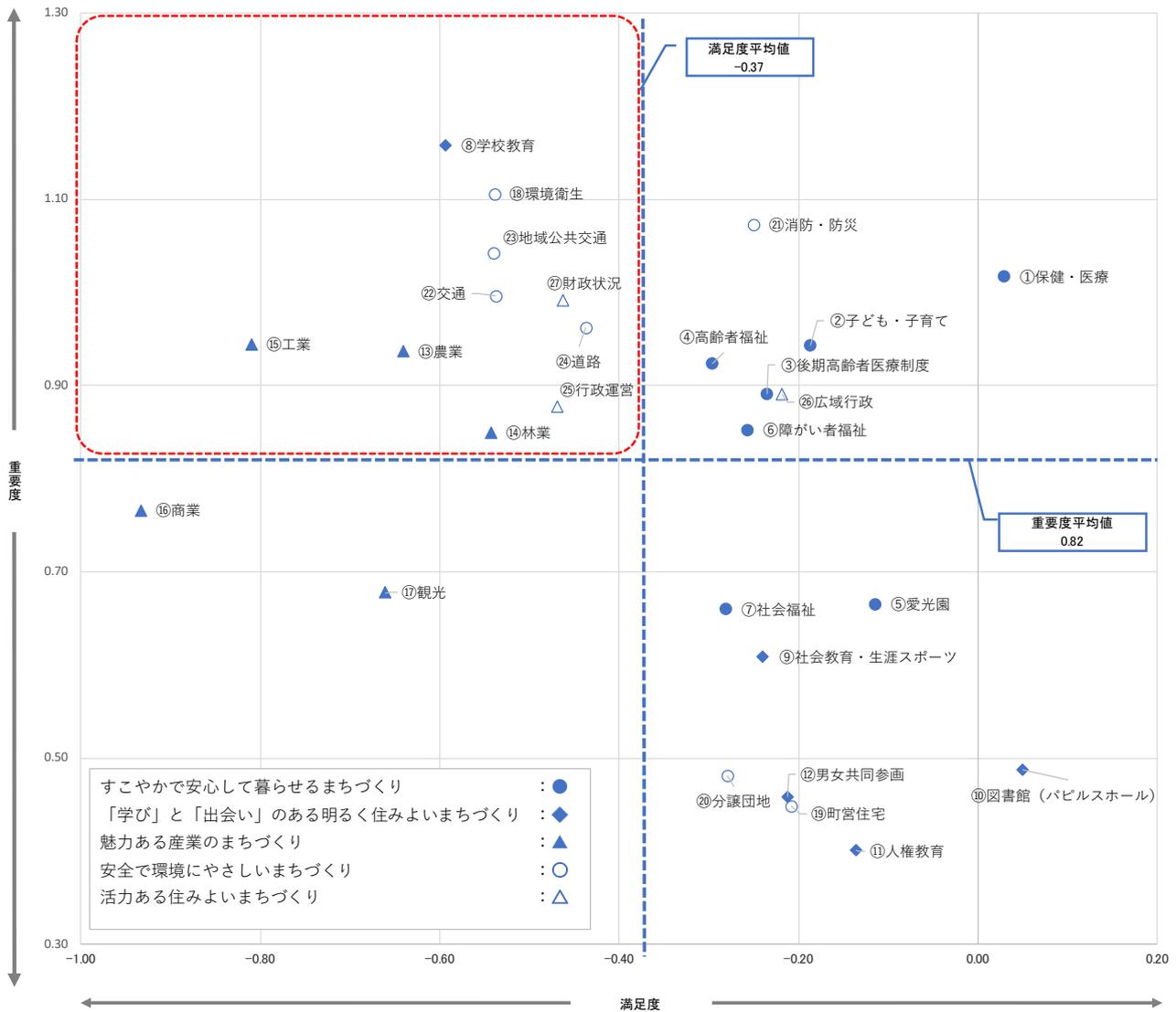
①満足度		②重要度	
満足	: 2点	極めて重要	: 2点
やや満足	: 1点	重要	: 1点
やや不満	: -1点	あまり重要でない	: -1点
不満	: -2点	重要でない	: -2点
わからない	: 0点	わからない	: 0点

左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

■60歳代以上（n=279）

60歳代以上の町民が、「重要度が高い」と評価している取り組みの上位5つは、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「㉑消防・防災」「㉓地域公共交通」「①保健・医療」となっている。

重要度が高いと評価しているにも関わらず、満足度が低い取り組み（※下図の赤枠部分）として、「⑧学校教育」「⑱環境衛生」「㉓地域公共交通」「㉒交通」「㉗財政状況」「㉔道路」「⑮工業」「⑬農業」「㉕行政運営」「⑭林業」が挙げられる。



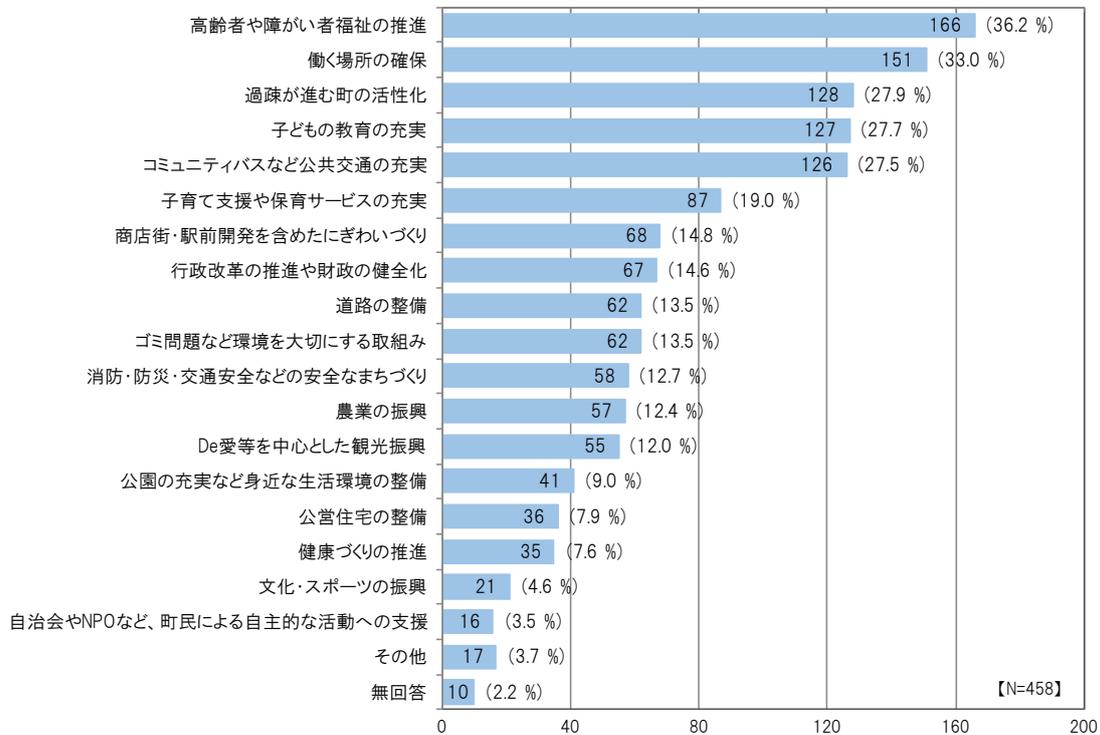
【加重平均の算出方法】

①満足度		②重要度	
満足	: 2点	極めて重要	: 2点
やや満足	: 1点	重要	: 1点
やや不満	: -1点	あまり重要でない	: -1点
不満	: -2点	重要でない	: -2点
わからない	: 0点	わからない	: 0点

左記の点数に各選択肢の回答数を掛け、それらを合計して、全体の回答数で割り戻して「加重平均値を算出」

あなたが、今後約5年間の間に町役場がこれまでよりも特に力を入れて欲しいと思う取り組みは何ですか。（複数回答）

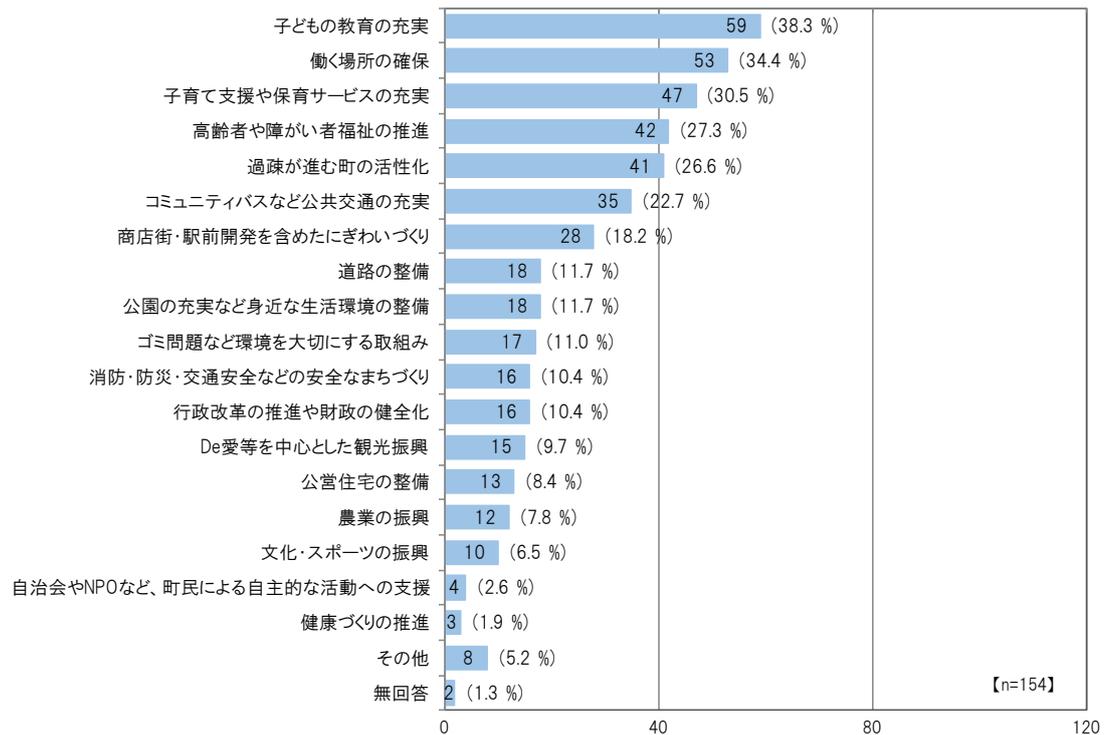
「高齢者や障がい者福祉の推進」が36.2%で最も多い。次いで、「働く場所の確保（33.0%）、過疎が進む町の活性化（27.9%）、子どもの教育の充実（27.7%）、コミュニティバスなど公共交通の充実（27.5%）」となっている。



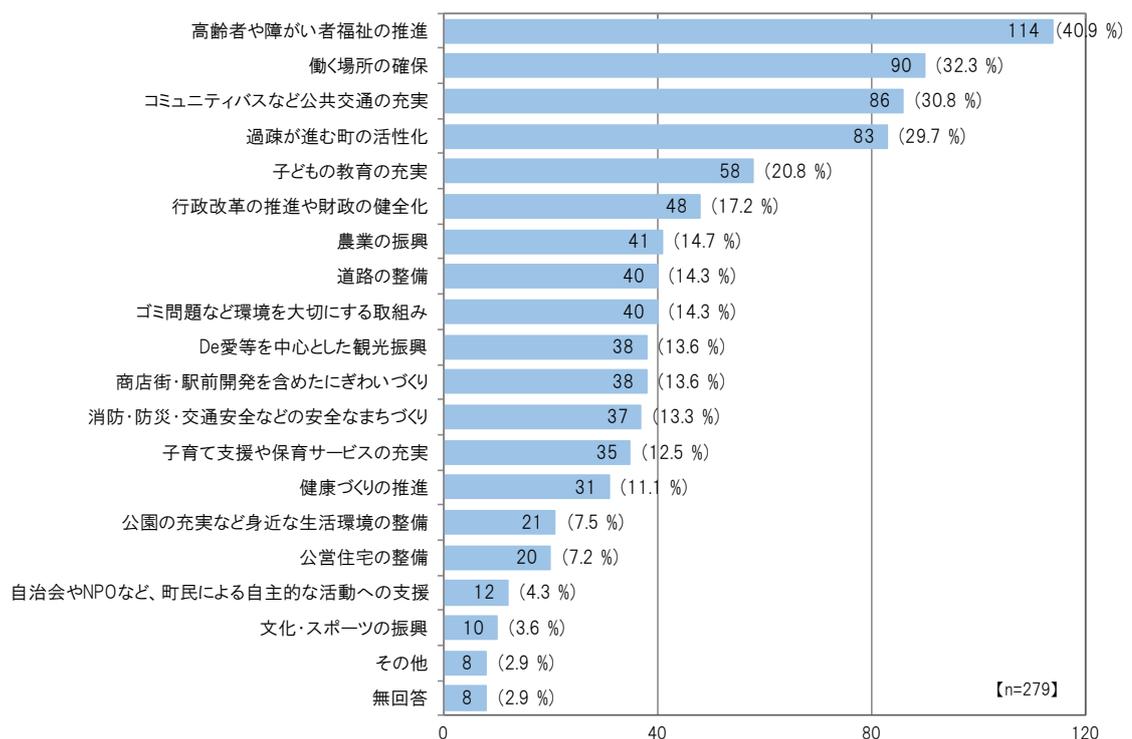
その他の意見
役場からの放送が全く聞こえないので、内容が理解できないので、各家庭に無線がほしい
反社会組織との決別と撲滅
全町民が参加できる催し物
母子家庭への援助
生活保護費等の厳格な見直し
医療（適切に受けられない人のために、もっと広報が制度を整えるべき）
どの部署もお金の使い方を公表すること。一括交付金の使い方は、不透明
道路にはみ出した枝の伐採など
役場の職員の体制
防犯カメラの設置
空き家問題
池
De愛が町中にあると便利
よくわかりません。すべてに頑張って下さっていると思うので
中高年が置き去りになっている。所得の低い人は大変。生活できない。
町内だけに限らないが、車で走っていると草と木が邪魔
・人口が減っているので、若い人を呼び込める行政作りをしてほしい。 ・子どもたちの教育保障を充実させてほしい。 ・高齢者対策をきちんと考えてほしい。川崎町でも60歳以上は4割以上はいると思います。 ※新しい原口町長に町行政を期待していますので、しっかり頑張ってほしいです。
行政改革。必要なものはどんどん取り入れ、不要なものはカットしていく。

年代別でみると、50歳代以下は、「子どもの教育の充実」が38.3%で最も多い。次いで、「働く場所の確保（34.4%）、子育て支援や保育サービスの充実（30.5%）、高齢者や障がい者福祉の推進（27.3%）、過疎が進む町の活性化（26.6%）」となっている。60歳代以上は、「高齢者や障がい者福祉の推進」が40.9%で最も多い。次いで、「働く場所の確保（32.3%）、「コミュニティバスなど公共交通の充実（30.8%）、過疎が進む町の活性化（29.7%）」となっている。

■ 20～50 歳代



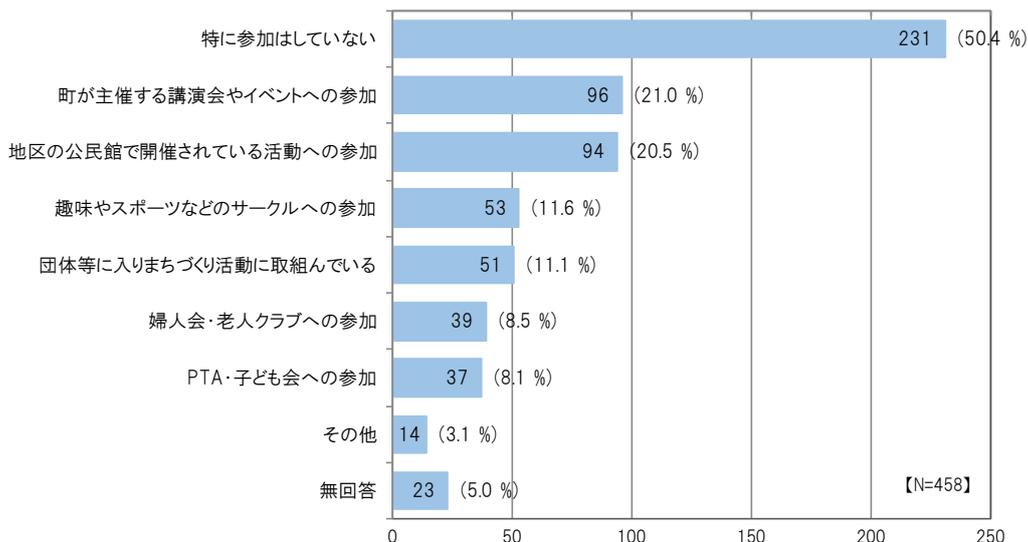
■ 60 歳代以上



あなたのまちづくり活動への参加状況を教えてください。（複数回答）

「特に参加はしていない」が 50.4%で最も多い。次いで、「町が主催する講演会やイベントへの参加（21.0%）地区の公民館で開催されている活動への参加（20.5%）」となっている。

年齢別でみると、20歳代は「特に参加はしていない」と回答した人が7割近くになっている。40歳代は、「PTA・子ども会への参加」と回答した人が3割近くになっている。

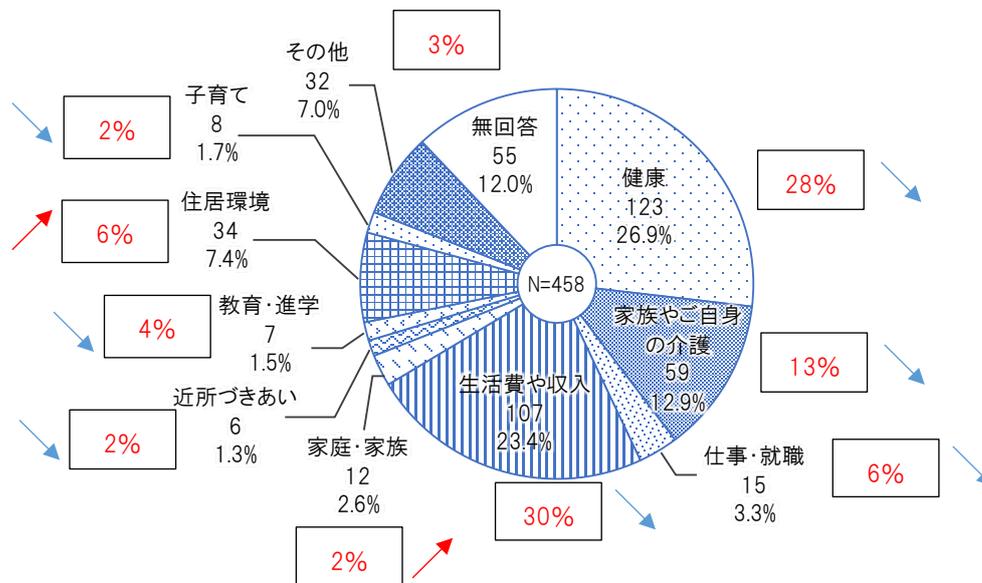


その他の意見
清掃
以前は色々参加していましたが、一生完治しない病気になり駄目です
障がい者、高齢者支援
消防団
神社総代、区の評議員
人神祭、農業用水路清掃
防災活動
高齢者教室があれば良い
隣組の会計係
祭り、盆踊りなどの地域行事
村おこしのための部会
強制されているもののみ
アンビシャス、放課後学習
団体には入っていないが、県道のゴミ拾い、草刈り等

5. 気になっていること、困っていること、不安に思うことについて

あなたが生活するうえで、困っていること、不安に思っていることはなんですか。

「健康」が26.9%で最も多い。次いで、「生活費や収入（23.4%）」となっている。
性別で見ると、男性は「健康」が30.9%で最も多く、女性は「生活費や収入」が23.6%で最も多い。
年齢別で見ると、30歳代は「生活費や収入」が46.4%で全ての年代で最も多い。

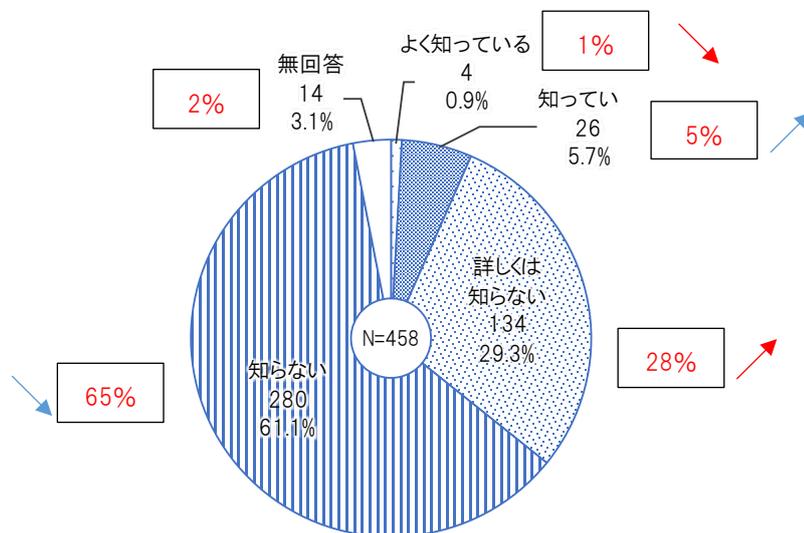


その他の意見	件数
特になし	9
役場の職員の体制	1
免許返納後の交通手段がない	3
農業開発のための事業資金	1
年を取り車を運転できなくなってからの自立した生活	1
田舎ゆえの後継不安	1
町営住宅で家賃を何十年も払って住んでいるのに、生活保護家庭は無料で、苦しいながらも家賃を払っている方は、トイレ・風呂など何でも実費はおかしい。	1
税金、保険料、病院治療代（薬代含む）の支払いが大変です。	1
就職ができていない息子がいること。心配。	1
子どもの結婚	1
公共交通	1
交通の不便	1
県営住宅に住んでいるが、家賃が異常に高い	1
近所の騒音（車やバイク含む）	1
人付き合い	1
過疎化	1
買い物、医療が町内には少ない	1

6. 行政運営を対象とした総合計画について

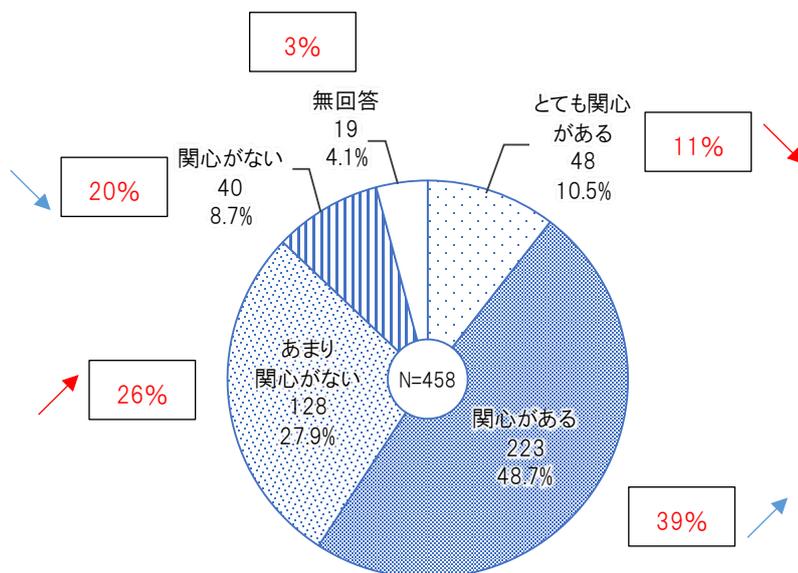
あなたは、第5次川崎町総合計画をご存知ですか。

「知らない」が61.1%で最も多い。次いで、「詳しくは知らない(29.3%)」となっている。



問18 あなたは、これからのまちづくりの指針となる第6次川崎町総合計画への関心はありますか。

「関心がある」が48.7%で最も多い。次いで、「あまり関心がない(27.9%)」となっている。



7. ご意見・ご要望について

総合計画や総合戦略、町政へのご要望・ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。

地域	年齢	自由意見
大字 安真木	20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 町民税高いため、下げて欲しい。交通の便悪すぎる。ソーラーパネル等に投資をするより、カラオケ店、au、トライアル、回転寿司など作って欲しい。 20代前半ですが、川崎町は福岡県民から悪いイメージなので、このまま変わらないと高齢者だけになる。
		<ul style="list-style-type: none"> 子どものいる家庭にもう少し得する制度を設けたら、子どもを出産する人が増えてくるだろうし、川崎町に住む人も増えるのではないかと。
		<ul style="list-style-type: none"> アンケートに答えて、意義あり向上してやさしい町になってほしい。誰でも川崎に住みたいと思える町にと願っている。町の隅々まで目を届かせて欲しい。 花火大会、パン博、秋のイベント、せっかく子ども公園を作ったのだから、活用して欲しい。 税金の支払いは4期だと大きな金額になるため、12ヶ月に分割して払いたい。もっとやさしい町になって欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> 雇用の確保、教育水準の向上に取り組んでほしい。 同時に「川崎町＝治安が悪い」というイメージを払拭し、若者が安心して暮らせる町にしてほしい。生まれ育った自分は川崎町が好きだが、筑豊地区以外から来た友人などに川崎町を案内すると良いイメージを持たれないのが現状。
	30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> まずは町の財政の健全化がなされないと、何事も進まないと思うので、財政の黒字化をして欲しい。 川崎町には歴史ある建造物や遺跡、行事、祭りがあるので、それをもっと活用してはどうか。竜田城の石碑等、あまり知られていないものもあるので、町が中心となって、川崎町の歴史を調査して欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> 目の先の事だけ見ず、視野を広くして取り組んでほしい。町の中心部が栄えたら良いという考えを持たず、町の隅々までが活気があるような町づくりをしてください。
		<ul style="list-style-type: none"> 町の財政状況等を考えて、全て平均点を取るような町づくりは、全て平均点に満たない無難で魅力のないものになると思います。この分野では日本一になれるくらいのある程度犠牲を伴う尖った町づくりを進めることが今後、地方が生き残る術なのかなと思います。
	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> アイデアや意見を持っている方の話をしっかり活かして欲しい。 町民盆踊り大会は、なくして欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> 駅前の駐輪所の設備が悪いため、自転車が何度も盗まれる。駅前が暗いイメージなので、お花など植えてみたらどうか。 ふれあいバスの運行時間を通学に活用できるようにして欲しい。親の送迎は負担になる。
		<ul style="list-style-type: none"> 保育士をしている。10月から保育料が無償化になるが、保護者の負担が軽くなるばかりで、保育士の待遇が変わらないのはおかしい。お迎えの時間など、仕事の時間に応じて保育できる時間を決めるべきだと思う。“預け放題”ということにもなりかねず、子どももかわいそうです。 休みの日に子どもの下校の放送が流れることがあり、気になる。
		<ul style="list-style-type: none"> 私に比べて子どもの方が川崎町の郷土愛がとても強いです。そんな子どもたちをがっかりさせない川崎町にして欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> 安真木地区は、通院や通学などの交通の便が悪い。 重点施策に積極的に予算と人員を投入して、きちんと成果を出すような戦略を策定して欲しい。
<ul style="list-style-type: none"> 害獣狩猟者の動員（飯塚、添田等のハンター）、鹿、イノシシ駆除に自衛隊の参加（プロだし…）、自衛隊の射撃技術の向上（動かない的を撃つより害獣を駆除して社会の役に立ってもらいたい）。全国に広がってほしい。 ブタコレラ対策に原口さん頑張ってる。この話を国会に通して広まれば、川崎町が始まりとして有名になるかも。ある意味で。 		
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 川崎町が故郷だと言いつらい。頑張っても生活保護の人が多く、税金も高い。 子どもの教育に力を入れ、子どもたちがこの町に戻って暮らせるようになったら良いと思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> トイレを水洗にできるようにしてほしい。団地等は共同水洗になっている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 計画を立てるのはいいが、実行が伴わない。町が元気になるようお願いします。 	

地域	年齢	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> De 愛とつながるサイクリングロードを整備し、駐車場を備えた散歩コースとして町外にアピールしては、どうでしょうか。魚樂園とも繋ぎ、休憩場所（お茶のできる場所）があると良いと思います。
大字 安真木	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が戻ってこれる職場が田川地区にはない。 生活保護の町というイメージを変えてほしい。 年をとっても買い物、医療に困らない町に。 企業がなかなか来ないなら、特産品となるものを作る農家に若い人の関心を持って行って、川崎町の〇〇はおいしいと他から買いに来てもらえるようになってほしい。なべとうさんのハチミツ、ラピュタのなし・パン、山下さんのいちご。大任町のパプリカ、にんにくみたいに。
	60 歳～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> 長期ビジョンに沿って、短期（2～4年）で実現可能なものを具体的に策定することが必要。抽象的なものは「絵に描いた餅」になる。
		<ul style="list-style-type: none"> 町にある歴史的建造物に対する関心の薄さ→人が来る町。人を呼べる町（パン博以外）は従来あるものを活用してほしい（古墳に来る人も少ない）。 地域活性化のためには、地域ごとの高齢者、子どもたちを含めた活動が必要だと思う。 職員（町）たちへの町民への対応を統一化（課によって動きが違う）。 安全に子どもたちが学校に行けるように見守りをしっかりしてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> 民意の反映・各階層、各地域、各団体等からの意見聴取
		<ul style="list-style-type: none"> ※絵に描いた餅にならぬよう着実に実施できる施策を期待する。
	65 歳～69 歳	<ul style="list-style-type: none"> 町立図書館の利用人数は間違いではないか。職員もぼーっと仕事をしている。 防災放送の運用がおかしい。日曜日は、いのししなどの駆除もしていないのに、放送があり、形式的になっている。 地震や大雨などの時に安心して避難できるのか。町民の避難訓練もない。安心して生活できない。
		<ul style="list-style-type: none"> 町議会議員の定数の削減をする。 人権教育などの町職員の出席が非常に少ない。
		<ul style="list-style-type: none"> パン博等の集客の場で De 愛に出荷している特産品の陳列 PR をしてはどうか。 少子高齢化で雇用の場を増やさないと福岡都市圏にどんどん若者が流出していく。町で工業団地等を整備して、中小企業でも多く誘致して税制等優遇して、働く場の確保して欲しい。町内では安定した職業と言えば公務員や公共関係の仕事で就業している人に限られる。就職氷河期世代が 60 代になった時、低年金・無年金で社会保障等の負担で町財政を圧迫することは容易に想像できる。 以前、テレビで放映していた島根県のある町で、若者が県外からの移住で毎年人口が増えていると特集していた。子育てを含め生活しやすい環境が整っていると感じた。トップ自ら視察等して、町の活性化や人口流出に歯止めをかけて欲しい。若者を定住させ人口を増やさないと、国の交付金は限られているし、町の税収は厳しくなるばかりと感じた。
		<ul style="list-style-type: none"> 健康診断…胃透視やエコー、子宮がん、マンモグラフィー等は 100 円でも有料にしていると思う。田川市も飯塚市も有料です。 魚樂園や安宅彼岸花、De 愛や鶏料理の店等、観光目玉となる施設の活用をもっと工夫して観光収益を伸ばす（何か川崎町の良いイメージが他県の人たちに伝わるようなイノベーションを起こす）。 必ず先細る農業に対する対策（作農面積、どんどん減っていると思う）もしくは、新しい産業の誘致。近隣市町村と組んで。 役場職員間で同様のアンケート調査をすれば、もっと具体的で実情に近いアイデアが出るのでは。やっついでしょけど。 結果（集計）は必ず広報で知らせてほしい。
	70 歳～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> インフラの整備。特に古い水道管の取替えをしているのか確認して欲しい。 人口の割合に対して、町・職員が多いと思う。質のいい人材を求めることを望む。役場受付の対応が悪い。初めての人は分からないことが多いので、福祉課の職員の方々は訪問した人に優しく丁寧な対応を心がけて欲しい。香春町の福祉課の対応を見本にして欲しい。 高齢職員や議員の上から目線が気になる事がある。再雇用に疑問がある。
<ul style="list-style-type: none"> 町の魅力は何なのか聞かれても、これと言って自信を持って伝えられる物がない。De 愛や横にあったレストラン等、失敗だらけ。なぜ人が集まらないのか、もっと考えてみるべきだと思う。良い環境はたくさんあるのに、利用しきれていないことは、非常に残念。手入れが行き届いていないこともあると思うが、住民の協力をもっと利用する方法もあると思う。活気ある町づくりを切に望む。 		
<ul style="list-style-type: none"> 総合計画や総合戦略を実行し、町が活性化していき、より良い川崎町になることを願っている。 		

地域	年齢	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・安真木の里道は狭く消防車も救急車も通れない。せめて消防車が通れる道に改修してほしい。
大字安真木	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・4ページの26、教育問題とし尿処理とは別の答えの方がいい。27、財政については、議員・町長の厳正な審査を行う目が必要。 ・田舎の方に街灯が少なく暗い。町中の方が多いのなぜか。 ・日本は自国の歴史や文化の面での教育があまりなされていないと思う。外国に行った時、保育園児～小学生たちを現地に引率し、見学させている様子を何ヶ国かで見かけた。自国を知ることは、今の日本や川崎町の事を考える土台になるのではないだろうか。孫との会話で歴史に対する理解と関心は希薄。大人（親）の関心がない故であろうと思う。川崎町も歴史の深い場所、人物が多くあり、これらを小学生の頃に教えることが大事では。
		<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町は今、イベント・地域の行事などが受け継がれ「ふるさと川崎町」を誇りに思っています。でも、今住んでいる所は、住みたいけど住めない状況になり悩んでいます。 ・高齢になり、草刈り、植木の剪定も難しくなり、そのうえ楽しみにしている家庭菜園も動物にやられてしまい楽しみどころかストレスになっています。町の対策として、住宅提供などがあればありがたいのですが…。情報がありませんらお願いします。
	75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・町内バスの回数を多くして欲しい。車を運転できなくなったら、毎日の生活ができなくなる。町の中心部の方たちは良いが、集落部の人たちは、病院に行きたくても行けない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・明るい町、元気な町にして欲しい。みなさんの意識改革をして欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・町立病院の医師の転勤が多くて医師との人間関係ができないうちに転勤している。年単位で勤務して欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・夜間に動物（鹿）等が町道、県道に出てきている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・農道・農業水路の補修。
		<ul style="list-style-type: none"> ・十分なサービスを広く受けることは良いように思えますが、人として駄目になる可能性のある事を行政で考えてもらいたい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・町会議員の活動が全く目に見えない。選挙の時と催し物がある時の来賓として座る時だけ顔が見える。地域でもこの人が議員になってくれて良かったという事が何も分からない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・財政面：かつての民主党が実施したように「事業仕分け」をして無駄な支出を明確にし、財源と合わ町長部局は把握すべきである。1つは退職者の再雇用は大事ではあるが、町のためになるような働きをしていないので、日誌を書かせる（ごまかしの内容では困るが）とか仕事のできる人のみを雇用するとか検討する。もう1つは、議員の削減と職員の削減。議員の数が他町と比べ多いのでは。そして職員も再雇用者を当面仕事に当てながら削減し、有能な人材を確保する。 ・明るい庁舎：大任町の庁舎に入ったら、あらゆるところに「あいさつをしましょう」とのステッカーが貼られている。一方、川崎町庁舎に入ったら、どこのおじさんが来たのかと無視するか態度や「すみませんが」と声をかけてじっとこちらを見るようなしぐさが見られ、そんなに仕事が忙しいのかなと思うことがある。公務員は公僕という言葉は今の時代には通じないのですかね。窓口の職員が挨拶ができるようになれば、役場内それは地域へと広がりを見せるのではないかと思います。 ・「環境は人をつくる」と言われています。「環境きれい課」なんて立ち上げ町内の草ぼうぼう、荒れた地域、ゴミの散乱（大任と川崎との境）等々をチェックして回り、マップを作成すると共に地域や区に知らせて協力をお願い（当然この課の職員も動く）すると共に業者とも相談しながらきれいな町づくりを目指す（ゴミや草がないだけでも気が盛り上がる）。
大字川崎	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護費の支給は本当に必要な人だけに絞って欲しい。不正受給を取り締まって欲しい。若い世代の生活保護世帯が多すぎる。 ・無駄な道路工事をしないで欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護世帯の見直し（本当に必要な人にだけに渡してほしい） ・パチンコ屋が多すぎる。恥ずかしい。
	40歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅を増やして欲しい。

地域	年齢	自由意見
大字川崎	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの教育、高齢者等の福祉を充実して欲しい。 ・核家族化が進み、1人親世帯や高齢者の一人暮らし等、悩みを抱えている人がいないか町全体で見守って欲しい。 ・パン博以外にも町外からの集客が伸びる観光振興に力を入れて欲しい。 ・De 愛は他地域の道の駅等の直売所に比べ魅力がない。町外の人あまり来ておらず、活気がない。 ・高齢者の運転問題（免許返納）が話題となっているが、田舎では車は必要なものでなかなか返納できない。返納しても生活に困らない町づくりを考えてほしい。コミュニティバスの柔軟な運行や返納者が公共交通を使用する時の割引などを検討して欲しい。 ・選挙割等若者が積極的に選挙に参加するような対策を考えて欲しい。 ・自信を持って出身地を言える活気のある町にして欲しい。 ・アンケートの年代別回収率、結果を公開して欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・外国にあるようなかわいい町（1つ1つ違う色・カラフルの）。 ・それぞれの人が得意としている事を知りたがっている人たちに教えることができる場所。 ・介護食の作り方（噛めなく飲み込みの悪い方々が多い中、介護にあたる人はとても食事面で不安を抱えています。教えて下さる方がいると助かります）。 ・車いすや寝たきりの方専用の温泉施設等。 ・体を自由に動かせない方は、着替えさせるのが（痛がったりして）とても大変です。そんな方々のための衣服などを作ってほしい（上向きに寝ても横向きに寝ても下になる方にボタンや縫い目がなく、腕を動かさなくても着せることができる服）。 ・認知症になると歩けなくなったりするので、車いすではなく、自分で歩くことができる、動かすことができる、危なくない赤ちゃんが足を強くするために用いるような物（人が作らない、考えつかないような物を考え作る町、創作する町になると良い）。 ・コッペパンで何十通りでも自分の好きな物が作れる専門店（具材を自分で選べる）。 ・外国人の自国の食べ物等を習える所があると良い。
		<ul style="list-style-type: none"> ・町の収入を増やすために、B&Gなどの施設でスポーツを通じて人を呼び込む。 ・安宅地区の有効利用。安宅牛などの育成など。 ・De 愛等を中心に観光地を作り人を呼びたい。 ・町立病院辺りの直線道にて神幸祭を開く（伊田神幸のように人を呼ぶ）。
	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・役場職員が窓口に行ってもすぐに出てこない。職員数が多いのではないか。役場職員の採用方法もおかしいのではないか。 ・町道の草刈りをして草を片付けない。役場周りの清掃をした方がいいのではないか。とても汚い。
		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がいのある方々が住みやすい町づくりをして欲しい。様々な支援・救済・給付など本当に必要な人が受けられるようにしてほしい。 ・町独自のサービス等を明確にして欲しい。相談窓口などを分かりやすくして欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・私は福岡市に30年近く住んでいた。川崎町に帰ってきて思ったことは、もう少し、都会のことを勉強し、実行して欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致…大手・中小企業 ・町の活性化…悪いイメージの払拭 ・交通事故撲滅 ・税金の軽減
	60 歳～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・私は今のところ車の運転ができていますので買い物は問題ないが、周りを見ると高齢者がほとんどで、困っている人ばかり。買い物に行けない人が多く。公民館に週1回De 愛販売者が来てくれるといいなと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも大人も言葉遣いが悪く、よその人が来たらびつくりする。治安が悪い。役場の人も感じ悪い。 ・対応が遅すぎる。
		<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫に餌をあげる人がいるので猫が増えるし、猫がかわいそうだと思う。
	65 歳～69 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、川崎町には他町村より人を集める施設がない。De 愛も場所的に他町村よりの買い物客の増加は期待できない。安宅のりんご園の近くに猪牧場、鹿牧場やオートキャンプ場を作り、若者（子ども連れ）が集まる場所を作りたい。このように人が集まる施設を作り、他町村より呼び込むことが川崎町の発展に繋がると思う。 ・働く場所の確保のための企業誘致も大事である。
		<ul style="list-style-type: none"> ・町の風呂が70歳から半額になるといい。

地域	年齢	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた町政を望みます。 ・遊んでいる人たち、人員（役場）が多い気がします。 ・町の職員が多すぎます。
大字川崎	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> ・高度医療を受けたい。 ・高齢者に優しい町づくりをお願いします。 ・買い物や病院に行くにも不便。 ・色々な事業の計画（公園等）については、役場だけでなく広く町民の話を聞いてほしい。あんな不便な所に誰が行く？ ・役場の職員は自分の課以外の課も関心を持つべきだと思います。無関心すぎ。例えば、よその市町村のイベントや情報機関等。
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎本町の郵便局前に、週一回朝市が出ており、大変助かっている。野菜や惣菜は売っているが、魚・肉・雑貨品があると助かる。買い物が大変。 ・小倉からのモノレールが川崎まで来たらいい。 ・避難所等、各地区にある場所の開設情報をスピーカーで流して欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・時々アンケートが届くが、何一つ要望がなされていない。 ・70歳を過ぎて年金で生活ができないのはとても不安。生活保護世帯や母子家庭も大事だが、職員の方は、もう少し詳しく調査して欲しい。 ・免許を返納したいけれど、田舎になるほど交通の便を考えて欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・町政について、役場の職員さんも一生懸命頑張っていると思いますが、その姿勢がこちらにはあまり伝わってきません。役場に行くのもあまり好きではありません。 ・要望として、道路（町道）端の草は時々刈ってほしいです。 ・元気があり、どなたでも胸を張って自分の町を言えるように考えて実行していただきたいです。
		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスについて、小さなバスにして。もっと時間を考えて欲しい。利用しにくい
	75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校時代の人間づくりに町・教委・学校の教育方針を十分に家族に行き届くように願う。 ・アンケートの質問事項が難しい。もう少しだけ説明が欲しい。答が○×では答えようがない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・私は50年以上川崎町に住んでいるが、これと言って大きな災害もなく良い町だと思っている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・川崎～山田線跡の散歩コースに一休みベンチを増やして欲しい。いつも散歩に行っている
		<ul style="list-style-type: none"> ・産業を誘致し若者が外へ出ないように働く場所を作って欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・犬の放し飼いをしている人がいます。 ・モラルの問題ですが、道路にゴミを散らしていく人がいて町が美しくありません。
<ul style="list-style-type: none"> ・芸能人を呼ぶなら川崎町のために使ってください。お金の無駄遣いです。 ・川崎町は住み良い明るい町であると、町外の人が住んでみたいと思う町にするために、元あった英彦山共和国の跡地を整地して活気を取り戻すようにしたら如何だろうかと思っています。総合計画の戦略として考えたらどうだろうかと思っています。 		
大字田原	20歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・古い町営・市営団地をきれいにして欲しい。 ・母子でも安心して暮らせる町にして欲しい。 ・生活保護受給者の見直しが必要。 ・育児のしやすい町にしてほしい。みんなが平等に充実した生活を送れる町に。
	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての人に平等になって欲しい。介護予防の体操など、毎年同じメンバーの参加となっている。その人たちだけが元気ならよいのか。町民全てに機会を与えるべきではないか。 ・税金の用途を明確にするべき。税金の金額をもっと安くして欲しい。 ・きちんと生活保護の対象者を適切にするべき（自分より若い人や働いている人が多い）。 ・医療を全ての年齢の人が適切に受けられる体制（受けられない人のために制度を変える。小児科を増やす。医療設備を整える）。福祉施設で働く人に働きやすい制度にして欲しい。手当の増加。 ・育児をする人に適切なアドバイスや広告をだして欲しい。保育施設を増やして欲しい。教育制度を整える（子どもたちに色々な興味を持ってもらうために、学校の選択コースや設備を増やす）。 ・もっと他の町から来てもらえるイベントを増やす。 ・ペットに対する制度を整え、広告する。（狂犬病の注射をしていない人が多い）。

地域	年齢	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・子育てがとてもしにくい町なので、子どもを増やしたくても子育てが全くしにくいいため、子どもを産めない。 ・町長は自分が言った言葉はちゃんとしてもらいたい。 ・中学校もスクールバスを出してもらわないと子どもが中学校に行くのも大変だし、学校に行かなくなっても困る。 ・子育てに関してもっと力を入れてもらいたい。
大字田原	40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・私は介護士をしているが、足が悪くバス停まで遠い場所に住んでいる方などは、とても困っている。 ・働くことができるのに働かず、生活保護で生活しておられる方もいる。 ・町に産業がない。 ・何かアピールできる物があると良いと思う。悪いイメージを変えていける努力をしていかなければいけない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンな町づくり。 ・頑張っている人や本当に助けが必要な人たちが報われる町づくり。 ・昔ながらの人情ある町なので、上記が改善されればとても良い町だと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・税金を子ども達に使って欲しい。消防とかそういう建物に使わないで欲しい。学校や教育に使って欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けたいが買い物や仕事は田川市や他の市町村に出て行くことが多いのが現状。車がなければ生活などできない。若い人はどんどん町外へ出て行く。商業誘致もパチンコ屋ばかり。治安が良く安心して暮らせるかと言われれば、難しい。 ・ふれあいバスは町内の広くカバーしており、すごいと思う。車がなくても生活できると高齢者の免許返納も増えるだろう。良い取組みは多くあるが、それをうまく利用できない住民も多く、民生委員や相談員だけでカバーするのに限界もあるだろう。町内会に入っていない人、近所付き合いのない人などは、情報をどこから聞いているのだろうと不思議。
		<ul style="list-style-type: none"> ・通学路に危ない箇所が多くある。道が狭いのにスピードを出す。歩道に草が生えすぎて（高く）通りにくい所がある。歩きやすい道路にして欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・町営住宅の空きが点在しているので、空きを1ヶ所にまとめて、一つのコミュニティを作り、医者・看護師・介護士等を配置した大型のグループホームや特老にして町が運営する。または、空き部屋を貸事務所として貸す等してはどうか。
	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・田原の信号の所が混んでいるので、右折レーンを作ってほしい。 ・道路にはみ出している木を切ってほしい。他人の土地から生えている木が家の屋根にかかり、とても迷惑している。葉っぱがかなり落ち、掃除が大変。テレビ映りも悪い。
		<ul style="list-style-type: none"> ・町民の減少を考えて、団地を減らしていくといいのではないかな。 ・空き家の対策は重要で、うちも頭を痛めている。 ・今朝の一面（朝日新聞）にも掲載してあったが、「人口増。流入やまぬ海上スラム」のように、生活保護世帯が他の地区から集まることがないことを希望する。 ・法律相談の充実。生活する上で困りごとなど、気軽に相談ができるように窓口が設置されるととても助かる。 ・文化面では優れていると思うので、中高一貫校ができるといいのではないかな。
		<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町はショッピングモールがなく、遠くまで行かないといけない。活気もないし、働く場所も少ない。イオンなどの大型ショッピングモールができたらいろんな面でいいと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・収入は減ったのに、町民税等が変わらないのはなぜなのか。収入が変わらない同僚より高額なのは大変不満。
		<ul style="list-style-type: none"> ・30年も使っていれば町営住宅のトイレの劣化やお風呂の劣化などの保障くらいはして欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険料を口座振替を推進しているのでやっているが、控除証明が自動で届くことがない。年金は届くのにおかしいと思う。
60 歳～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・土地は広いのでひとつテーマパークのようなものがあれば、人が集まってくる気がします。ゆうゆう共和国、残念でした。 ・企業誘致などを積極的にして、若い人たちが川崎で働けるようにしてほしい。そうすれば税金も入るし、町の活性化に繋がるのでは。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画および総合戦略においては、計画期間が過ぎたから策定するのは当然であるが、毎年の検証がされていないのでは、計画の進捗状況を把握し、緊張感を持って取り組んで欲しい。 ・町長、町議員がどのような活動をしているか町民は全然分からない。名前だけの町長、町会議員はいらない。税金の無駄遣い。川崎町のため何をしたいのか見えない。 	

地域	年齢	自由意見	
大字田原	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> 川崎町ではスーパー、病院に行くにも車は欠かせません。もっとコミュニティバスの本数を増やして欲しい。先々、買い物難民も増えていくと思う。交通に不便だとお年寄りも家に引きこもりになりがちになりかねない。便利で住みやすい町になって欲しい。出かけることは、楽しみであり、人とも接するし、良いと思う。 図書館もよく利用しているが、年々利用している人が減っているようだ。たくさん本、きれいな館内、本離れかもしれないけど残念だ。何か工夫して人の集まる場所にして欲しい。 	
	65歳～69歳	<ul style="list-style-type: none"> 空き家があれば競売をするなど、他市町より入居者を入れて人口を増やし、税金など少し考えて欲しい。他所より高い。空き家など無料で（一軒家）募集している町もある。人口を増やすため川崎町も考えてみてはどうか。 何年も経った池が汚い。洪水があつたら池からも溢れ出し、そのうち伝染病で子ども、老人が倒れる。病院も人で不足で死人も出るかも。早く汚い池を何とかしないとダメだと思います。 	
	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> 駅前商店街の活性化。 農業後継者の育成。 休耕地の集団化経営。 町の特産品の開発、発信、宣伝等。 働く意欲のある教育の充実。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 総合計画は形だけのものでよい。予算に裏付けされた実施計画を策定すべき（4～5年）。同じような計画は必要ない。今すぐ実行に移せる計画が必要。それだけで良い。町長のリーダーシップと職員力で押し進めれば良い。策定委員会等は時間の無駄。議会や議員は相手にしなくてよい。口は出しても知恵はない。 本町の再生は学校教育における学力向上（5年で県平均の学力とつける）。 防災対策（大字別で地域に合わせて）。 雇用の場の創出（企業誘致、国県学校法人等幅広い職域）。 観光開発（熊ヶ畑トンネルで観光を。川崎町で誇れるものはこれ以外に何も無い。熊ヶ畑トンネルこそが川崎町再生のカギ。何をしても他の市町村に勝るものは一つない。これ1本に賭ける。日本一にすぐなれる。）。 職員の養成。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 孫が中学に行っているの、通学の事と教育進学。三校が一緒になるので教育をしっかりとやってもらいたい。 	
	75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 町議16名は多いので、13名位で良いと思う。役場の職員も多いと思う。各部署、暇であり仕事をしていない。のんびり過ごしている。 ごみや使い捨てパック等、道路に散らかっている現状は嫌だ。清潔な気持ちの良い環境でありたいと思う。犬の糞等、何とか愛犬家が持ち帰って処理してもらいたい。 子ども達が安心して遊べる公園があつたら良いと思う。 職員の採用には試験に合格した者を職員にすべきだ。実力のない人は、採用されても将来に本人が困る。 教職の人が良くない。また、先生が良くない。川崎町に在住する子どもが他校（川崎町外）に入学している子どもが多数いる。子どもの誤った自由を先生が指導していないので、子どもの親の指導も行った方が良い。子どもの教育と親の教育を同時にすべきだ。また、教師も良い先生を入れ替えること。 川崎町はこれといった目玉になる場所がない。考えて探せばあるはずだ。なければ作れば良い。 	
		<ul style="list-style-type: none"> まず、議員のレベルアップ。知識豊かな議員が議会にあふれると町は自ずから発展します。 中元寺川の美化。特に水をきれいにすること。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 中学統合について、スクールバスの導入およびLGBTに配慮した制服の選定（男女共に選択制にするなど）など、子どもが心身ともに安全・安心して暮らせる学校にして欲しい。また、町民全体に対する説明会をして欲しい。 母子家庭や父子家庭にも関わらず、偽装離婚等で制度を悪用している家庭の是正を強く希望する。 第5次を全く知らない。第6次はもっと認知度と分かりやすくして欲しい。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 働く母（パート）が仕事がつづらぬ条件が増えていっている世の中だと感じる。選択肢を増やしてほしいとは言わないから、せめていくつか残してほしいです（国だけでなく一般人も豊かになるような）。 	
	大字池尻	30歳代	<ul style="list-style-type: none"> とにかく税金が高い。 町営住宅の改善。色々困っている。 町民に耳を傾け、きちんと行政が動いて欲しい。
			<ul style="list-style-type: none"> とにかく税金が高い。 町営住宅の改善。色々困っている。 町民に耳を傾け、きちんと行政が動いて欲しい。
		40歳代	<ul style="list-style-type: none"> とにかく税金が高い。 町営住宅の改善。色々困っている。 町民に耳を傾け、きちんと行政が動いて欲しい。

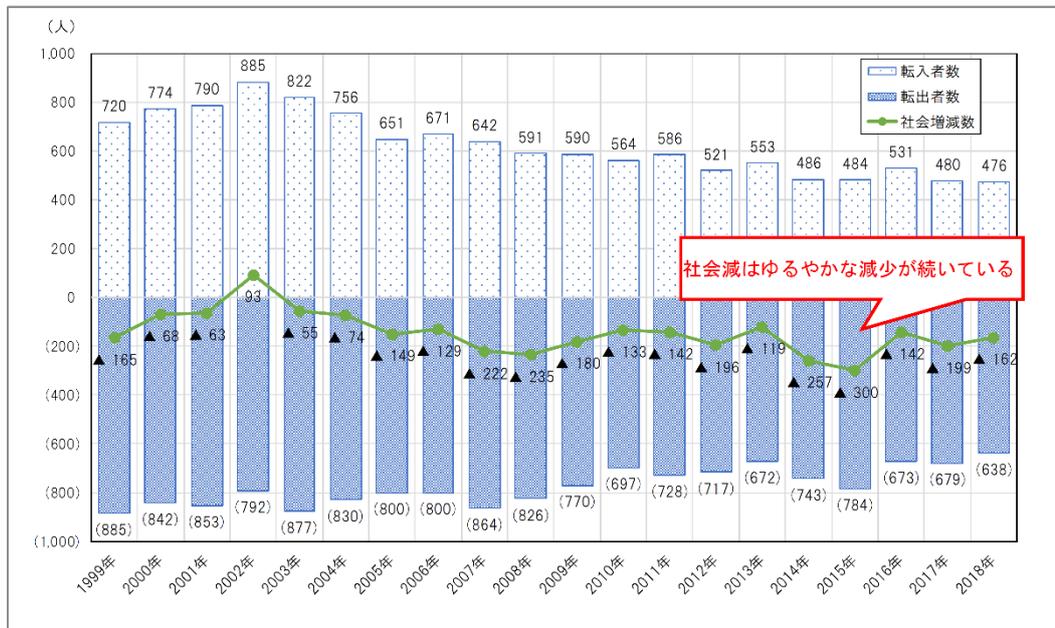
地域	年齢	自由意見
大字池尻		<ul style="list-style-type: none"> ・町のあり方が中途半端。官民の連携が感じられない。ローカルのTVが時々来ているが、伝えられる物がない。もっと田舎ならではの発信、やれる事があるはず。町政自体がとりあえずやっている感じ。アスレチックやBBQやキャンプなど、De 愛周辺も整備すれば子どもや親子連れも呼べるはず。 ・中学校の合併に伴い片道5キロ以上の徒歩を要するようになる地区には、バスの送迎など必要と思う。大人でも大変な距離を毎日歩くのは冬場などは街灯なども少なく女の子などは特に危険なため、部活などで遅くなることもあるため、バスなどの送迎など考えていただきたいです。 ・コミュニティバスの増便を要望したい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町ならではの、特別な目標ができるきっかけが必要ではないか。県大会・全国大会に行くような項目に集中してはどうか。具体的な種目は分からないが、スポーツ（ボルタリング）、百人一首など。 ・社会福祉協議会や高齢者福祉課等の組織により、高齢者が地域で集まる場を企画してはどうか。介護予防としての重要な位置づけだと思う。高齢化率37%台となり、早期に取組みが必要ではないかと思う。補助金もあるのでないか。 ・今後、計画案策定として、子どもの教育向上および技術の習得、高齢者が生き生きと過ごせる環境づくり（地域交流など）など、ぜひ計画して欲しい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・隣組の会計係をここ数年ずっとやっています。隣組の殆どの人が高齢で足腰が悪く、また、パートナーの介助などを抱えているためです。その方々も入院や死去、施設への入所などで世帯数は毎年どんどん減っていますが、若い人は引越してこられても隣組には入られません（2軒のみ全く顔は出されないものの、組費のみ払って下さるお宅があります）。その結果、どういうことが起こっているかという、行政区の運営費や地区の街灯費を月数万の年金でかつかつ暮らしているお年寄りが何とか捻出したお金で賄っているのです。少数の社会的弱者の方々から搾取したお金でその他大勢の生活を支えるというのは無理があるし、根本的に間違っていますよね。システム自体が機能していない戦前の制度を、なぜ誰も改めようとせず、放置しているのでしょうか。大変疑問に思うし、怒りを感じています。 ・タクシー料金無料作ってほしい。障がい者。 ・来年から中学校の通学用のバスを出してもらいたい。
	50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度開校する中学校（統合）について、住民の意見を聞く、住民に説明する機会はあったのか。今は中学生はうちにはいませんが、孫ができたなら、将来通学する。広く町民の意見を聞く必要があると思う。 ・子どもたちは川崎町が好きだが、3人中2人の子どもは大学等で学んだ専門性を活かせる仕事が町内、または家から通勤できる範囲になかった。子どもの同級生たちを見て町外、県外に出ている人が多い。若い人たちが仕事をできるような町になって欲しい。 ・働く体力のある人たちが仕事をして収入を得て生活することが、当たり前で欲しい。 ・障がいがあってもスポーツを楽しめるようなサークルがあったらいいと思う。
		<ul style="list-style-type: none"> ・役場の管理職の方々は、奥の方でふんぞり返ってないで、もっと仕事して欲しい。危機感がなさすぎる。貴方方で本当に川崎町をよくできるのか。あえて厳しく書いた。期待はしている。
		<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に過疎化が進み、川崎町などの田舎町で大きな歴史的なものもない等、若い人が住んでくれる可能性も低い。 ・高齢者が多くなってくるので、もう少し高齢者のみでなく、大人、みんなが参加できるサークル、勉強会、やりがいとなるものを増やしていけないのか。 ・福岡市、北九州市との協力のもと、古民家などをリノベーションしたり、田川市郡一団となってインバウンドの地域観光や実体験型観光などができないか。 ・若い人たちが家族移住で住んでもらえるよう住宅の設備。
		<ul style="list-style-type: none"> ・人を大切にできる町づくり。子ども・障害を持たれる方・高齢者・若者が生き生きと生活し、働ける町。
		<ul style="list-style-type: none"> ・65歳になったら介護保険等、税額が上がり、年金生活をされている方の出費が多くなるのは何故か。 ・町会議員を少なくしても良いのではないか。 ・町の職員のスキル向上をして欲しい。
	60 歳～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・川崎町が今後どのように町民に対して住み良い、暮らしやすい施策を行っていくのかつかめません。文章通知などではなく、特に町役場などに気軽に相談や質問等に行きやすい雰囲気作りに力を入れてほしいように思います。民間企業と同じように来た町民に親切丁寧に応じてほしいです。町役場を1つのコミュニティな感じで相互に行き良かった、分かってもらえて良かったと思える川崎町役場であってほしいと思っております。
	65 歳～69 歳	

地域	年齢	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> ・町の事をもっと住民に分かりやすく知らせる事が必要。住民の声が届きにくい。 ・川崎町は初代神武天皇が住まれ、その地名、川崎町と名付けたと天降神社の大日本西海豊前田河天降大宮の縁起書にもある通り、非常に本来日本史を覆すような根幹を持つ町であり、画聖雪舟が作った魚楽園も有する観光に相応しい町であることを武器に町の観光に最も力を入れるべきだと思います。 ・誰もが安心して暮らせる町づくり。
		<ul style="list-style-type: none"> ・隣組に参加されていない家の方に登録だけでもしてほしいです。近所に誰が住んでいるか把握していないと何事か起こった時に、どう動いて良いか分かりません。 ・団地の裏の竹藪をどうにかしてほしい。昼間から電灯をつけないと暗い。 ・住み良い町づくりを。
		<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の教育によるモラルの向上により、現在の大人のモラルの向上を図り、町内の美化と住みやすい町づくりをして欲しい。 ・自主独立できる、納税できる産業の誘致をして、地元で若者が働けるようにする。若者が安心して住める社会にして欲しい。
大字池尻	70歳～74歳	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、福祉について、池尻中学校の生徒達の統合後の通学について話を聞くと、予算の関係でバス通学はないと聞いた。雨・雪・熱天・寒さの中、歩行で通わせるのは、もつての外。子どもたちは1番に大切にせねば、川崎町から出て行ってしまう。 ・ふれあいバスが充実していないなかで、安い年金生活者はタクシーの予算がないので、少し生活補助を考えてくれれば、免許証も早く返せると思う。 ・町の中心を流れる中元寺川の水を綺麗に汚さないようにして欲しい。小魚がいっぱいいて見て楽しむことができるようにして欲しい。小魚を含め釣り、捕獲を増えるまで禁止することも考えて欲しい。 ・道路に両側歩道、自転車道を設置してほしい（中心道路）。 ・若者が住める町、働ける町にする（仕事のある町を）。 ・「川崎町に住んでいます」とどこでも胸張って言える町にする。 ・高齢者が多いのに交通の便が悪い。年金が安いのに施設に入れない。生活が不安。 ・コミュニティバスの増加。行先等の検討を。 ・イノシシの被害。畑は無茶苦茶荒らしまわり、野菜作りは全くできない。最近屋敷内に入り、花も木も荒らされ困り果てている。 ・野良猫がすごくいる。プランター等をひっくり返し、うんちする。 ・下水道の流れが悪く、蚊が多発（蚊のいない所に行ってみたい）。
		<ul style="list-style-type: none"> ・魚楽園などの昔ながらの施設はすごいけれど、古いものに頼りすぎている感じがする。時々テレビで川崎町が紹介されているが、出ている場所が大体同じ。
		<ul style="list-style-type: none"> ・行政の若い力で住みやすい町づくりをお願いしたい。 ・過疎化が進み、高齢者が多く残る地域になるが、若者を引きとめ招き入れる手段を考えねばならない。交通手段（昔より不便に）の充実や病院の整備の他、迷惑施設の誘致も一考の価値があるのではなか。 ・これから益々単身世帯が増えると思うが、今のままでは安心してこの町に住み続けられない。今後どうすべきか思案中。 ・若者が安心して暮らせるような町づくりをする行政を願っている。 ・高齢者の一人暮らしの買い物難民がいる。 ・コミュニティバスの通行コース（川崎町に行き渡っていない）の見直し。 ・安宅地区に災害時に避難場所がない。
		<ul style="list-style-type: none"> ・2025問題で起こりうる問題と対策を川崎町はどう進めているのか知りたいです。 ・田川地区の介護保険料の上昇についてなど、介護保険を使わないと損と思う人もいるかもしれません。元気な高齢者を1人でも多くしていくにはどうしたらよいのかなど考えてほしいです。 ・町立病院の役割も考えてほしいです（町ですから）。 ・免許を返納した時にタクシーチケットなどあれば、もっと返納しやすいと思います（福祉バスは本数が少ないので）。 ・包括支援センターの動きが見えません。もっと広報などで発信してほしいです（機能の強化をしてほしい）。 ・私も川崎町に住んでだいぶになりますけど、私も67歳になりますけど、あんまり関心がなかったけど、今はもう年ですけど、今日のアンケートに関心があります。生活費や収入が1つ心配しています。 ・町民に不信感を持たせないように（行政）。 ・町職員、議員が多すぎじゃないですか。
		<ul style="list-style-type: none"> ・20歳代
		<ul style="list-style-type: none"> ・無回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・無回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・無回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・無回答
		<ul style="list-style-type: none"> ・無回答
<ul style="list-style-type: none"> ・無回答 		

地域	年齢	自由意見
		<ul style="list-style-type: none"> • 川崎町に反対に聞きたい。産業にしても商業にしても子育てにしても町政にしても他町にはないもの、一体何がある。過疎化が進むというのは、早い段階で分かっていたはず。町長、町議は一部を除き私利私欲に走り、何もないのが川崎町。新町長は我々にどのような夢を見せてくれるのか。 • 町議会議員定数の削減。 • 町職員の研修制度の充実と各種講演会・イベント等への積極的参加を望みます。 • 住民が元気で過ごせる、未来に期待できる活気ある町になってほしいと願っています。

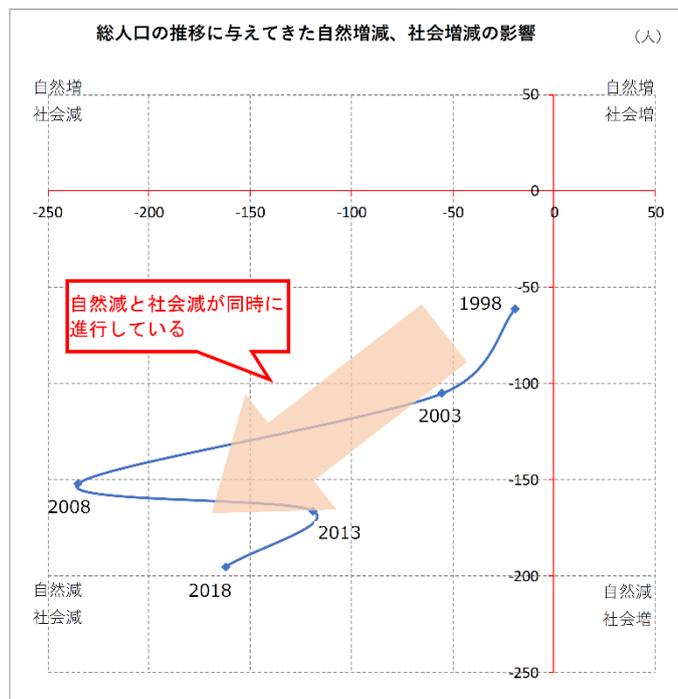
7. 現況データ

■本町の転入数と転出数からみた社会増減推移■



(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

■総人口の推移に与えてきた自然増減、社会増減の影響■



(資料)総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査」

8. 住民ワークショップ

(目的)

10年間の総合計画を立案するにあたり、住民と職員が語り合い、地区の現状を確認し、町の将来像を共有することを目的に、住民ワークショップを実施しました。住民ワークショップの結果は第6次川崎町総合計画素案に反映しました。

(プログラム)

前半は、安真木、川崎、田原、池尻の4つの大字単位の地区に分かれ、地区ごとに地域資源地図を作成しながら、まちの現況と課題についてまとめ、後半はグループ分けを再度行い、まちの未来について語りました。

(実施日時)

令和元(2019)年 10月20日(日) 13:00~17:00

(意見交換内容)

内容	ねらい
「自分の住んでいる地区について語ろう」	地域資源図を作りながら話すことで、地区の現状を班の中で共有する
「どんな町に住みたいか」 「将来像のイメージ」	参加者の意見を聞いて川崎町の未来をイメージする

ワークショップの意見まとめ



参加者で協議した内容を下記にまとめました。

将来像のイメージ		こんな町なら住みたい・住み続けたい				
		教育	福祉	観光と農業	モラル・イメージ	その他
1班 安真木	○教育と福祉（現段階ではない） ○観光と農業 ○モラル（治安）の高い町へ	<ul style="list-style-type: none"> 教育が充実した町 学力の高い町 教育に力を入れる町（子供が夢を追える） 教育の向上（現段階ではない） 教育（小中学校）を大切にする（学力をつけるために教員を増やすなどお金をつかう） 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉が充実した町 福祉の向上（現段階ではない） 	<ul style="list-style-type: none"> 農業が続けられる町 パン博、観光の一体化 	<ul style="list-style-type: none"> 人がやさしい町（地域コミュニティ） 子ども（若い人）が誇れる町 町民のモラルの高い町 治安の良い町 ゴミのない明るい町（花を美しく咲かせる） ゴミのないきれいな町（町民のモラル向上） 治安の良い町 	<ul style="list-style-type: none"> 便利な町（交通、買い物など）
2班 池尻	○教育を充実させるためのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> 学力保障ができる、そして子供達が安全に登下校できる町 教育水準を上げる 大人も子どもも教育の充実した町（教育費をおしまない） 教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 老人が住みやすい、きれいな町 老人も共に協力できる町 生活保護率を下げる 生活保護者の減少、働く人を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> 特産品のある農業が活発化した町 フードコートを作り、ブランド化してPRする。雇用も増えると思われる 町内外から人が集まり活気がある町 町民が（行政・町民など官民一体となって）暮らしやイベントを楽しむ町 特別な事より、信頼される物作りとブランド作り、維持可能な体制・予算作り 	<ul style="list-style-type: none"> 治安の良い町 道徳心のある町 安心・安全を感じることでできる町づくり 環境を考慮した人と生活 	<ul style="list-style-type: none"> メリットがなければ人は集まらない 道路の整備
3班 川崎	○今後10年間子育てに特化する ○学力アップ ○生活環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> 学力UP、教育に力を入れる 子供達にスポーツが出来る所 子育て、教育環境 高齢者を学校へ 子どものことをもっと考えた町 子ども達にとってより良い教育が出来る町 子ども達が充実したスポーツができる町 子どもの教育に真剣に取り組む町 	<ul style="list-style-type: none"> 負の連鎖を繰り返さないまち 	<ul style="list-style-type: none"> フードコートを作り、町外の人を呼び込む De 愛を中心に、魚楽園、豊州などのパン博のイベントを充実 川崎町の特性を生かした農業が盛んな町 	<ul style="list-style-type: none"> 花を植えてきれいな町に、ゴミのない町 安心・安全に暮らせるまち 住民の交流が盛んな町 町の産業に活気がある町 	-
4班 川崎	○教育 ○イベント・フードコート・優しさ	<ul style="list-style-type: none"> 学力を上げるために、まずは町内をきれいにし、心を健全な状態に導く 教育レベル、学力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 川崎町の印象が良くなるよう町の福祉 	<ul style="list-style-type: none"> 観光やイベント等を連動させて、人を呼び込んでいく 町外の人を呼びたくなる魅力・自慢のある町 パン博等行事の統一（計画的実施） 農業の活性化、農業人口を増やす、営農 観光、イベント、フードコートなどが、川崎に来たくなるように 	<ul style="list-style-type: none"> 大人も子どもも、人に優しくできる人が多い町 ここでずっと勉強したい、ここでずっと働きたいと思える町 	
5班 田原	○教育・公共交通の充実 観光交流人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの生活環境を整える 昔からの伝統を守る町（教育もまじえて） 教育の充実 	-	<ul style="list-style-type: none"> くつろげる施設・場所があったらいい 他の町から来てくれる町 	<ul style="list-style-type: none"> 人に優しい町 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設でまちづくり 他の町に行かなくても、川崎町でいろいろできる町（遊ぶ、趣味など） 就労の場がある町 コミュニティバスなど公共交通が充実した町